

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和5年6月14日（水曜日）
10時00分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 教育長報告

- ・教育長職務代理者の指名について
- ・教育長の臨時代理について

4 議事（公開）

付議第5号議案

県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）について

（教育振興課）

5 事務局報告（公開）

（1）佐賀県内の義務教育諸学校の教科用図書の採択等について

（学校教育課）

（2）令和5年度佐賀県高等学校総合体育大会の結果について

（保健体育課）

（3）令和5年度全九州高等学校体育大会の開催について

（保健体育課）

（4）令和5年度佐賀県中学校総合体育大会及び令和5年度九州・全国中学校体育大会
の開催について

（保健体育課）

（5）第105回全国高等学校野球選手権佐賀大会について

（保健体育課）

（6）次回定例教育委員会について

令和5年7月31日（月）10時00分～

（教育総務課）

6 議事（非公開）

付議第6号議案

令和5年度県立学校教職員(管理職)異動について

(教職員課)

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和5年5月30日（火曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 落合教育長、牟田委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、井上副教育長、嘉村副教育長、大橋危機管理・広報総括監、松尾総体2024 総括監、内田教育総務課長、近藤特別支援教育室長、市丸教育総務課副課長、古賀教育総務課係長、小野教育総務課主査

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

（1）開 会 10時00分

（2）前回議事録の承認

このことについて、落合教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

（3）事務局報告

- ① 松尾総体2024 総括監は、令和6年度全国高等学校総合体育大会の競技会場及び競技日程の決定について、資料に基づき次のとおり報告した。

（松尾総体2024 総括監）

資料1-1をご覧ください。全国高校総合体育大会の競技会場及び競技日程については、全国高体連中央委員会で決定することになっており、令和5年4月25日に開催された第1回中央委員会で記載のとおり決定された。佐賀県での開催競技は、水泳（競泳）、バドミントン、レスリング、ボクシング、フェンシング、少林寺拳法の6競技である。従来は均等割りで8～9競技となるが、国スポ・全障スポと同じ年度に開催であるため軽減措置がされている。レスリングのみ嬉野市で開催するが、その他の競技はSAGAサンライズパークを中心に開催する。バドミントンについては競技会場が36面必要になるためSAGAアリーナのメインアリーナ・サブアリーナ、SAGAプラザ（旧：総合体育館）、諸富文化体育館、吉野ヶ里町文化体育館と広域で開催となる。日程は会場が重複していること、佐賀県には宿泊施設が全国の中でも少ないため、会場の近くに宿泊できるよう競技日程を分散している。

- ② 近藤特別支援教育室長は、令和4年度特別支援学校高等部卒業生の就職状況について、資料に基づき次のとおり報告した。

（近藤特別支援教育室長）

資料2-1をご覧ください。特別支援学校高等部卒業生就職状況について、高等部卒業生の総数に対する一般企業への就職希望者数や、それに対する一般企業への

就職内定者数と就職希望者の就職率、高等部卒業者総数に占める就職内定者の就職率を記載している。

表の一番右の列に示しているが、令和3年度に比べ、就職希望者数について9人減の55人、就職内定者数についても10人減の53人となっており、就職希望者数の就職希望率については96.4%であった。高等部卒業者総数に占める就職内定者数の割合は32.9%であった。例年と比べると、進学を希望する者が多かったり、B型事業所等での経験を経てから就職に繋がりたいと希望する者が多かったりしたことが要因と思われる。

3月31日時点で就職が内定していない2人のうち1人は鍼灸の治療院を開業し、個人事業主となっている。もう1人は障害者就業生活支援センター等の支援を受けながら就職活動を続けている。

続いて、資料下段の「特別支援学校高等部一般企業就職内定者以外の主な進路先」をご覧いただきたい。ここに示す該当者は、1の表の卒業者総数161人から、一般企業就職内定者数53人を差し引いた108人であり、その内訳は、進学5人、社会福祉施設等入所・通所96人、その他7人となっている。就職未内定者2名については、その他に含まれている。特別支援学校における就労支援については、より一層の充実を図る必要があると考えており、今後も引き続き企業等との協働体制に基づいた就労支援の推進に取り組んでまいりたい。

- ③ 内田教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(内田教育総務課長)

次回定例教育委員会は、6月14日(水曜日)10時00分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(4) 議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第4号議案】

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

このことについて、議案書により内田教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(5) 閉会 10時10分

令和5年6月定例教育委員会資料

(令和5年6月14日)

教育長報告

佐賀県教育委員会

教委総第 755 号

令和 5 年 6 月 7 日

佐賀県知事 山口 祥義 様

佐賀県教育委員会



県議会に提出する教育関係議案に対する意見について（回答）

令和 5 年 6 月 7 日付け教委総第 754 号で意見を求められた事項については、
異存ありません。

記

- ・「佐賀県施策方針 2023」の策定について

教委総第 754 号

令和 5 年 6 月 7 日

佐賀県教育委員会 様

佐賀県知事 山口 祥義



県議会に提出する教育関係議案に対する意見について（意見聴取）

下記のとおり教育関係議案を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により意見を求めます。

記

・「佐賀県施策方針 2023」の策定について

「佐賀県施策方針2023」の策定について

県行政に係る基本的な計画として、次の事項を内容とする「佐賀県施策方針2023」を策定する。

第1 基本構想

【基本理念】

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

【佐賀の目指す8つの未来の姿】

「守ろう！」先どの危機管理 安全・安心のまち

「支えよう！」支え合い、寄り添う やさしい地域

「育もう！」かかわりあり子育て 笑顔あふれる未来

「交わろう！」動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

「挑もう！」新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

「創ろう！」スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造

「輝こう！」いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地

「志そう！」志を胸に 骨太な人材の育成

第2 計画期間

令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）までの4年間

第3 基本的な政策及び施策

「守ろう！」先ほどの危機管理 安全・安心のまち

(1) 防災・減災・県土保全

- ① 防災・減災等の体制づくり
- ② 玄海原子力発電所の安全対策
- ③ くらしを守る治水対策の推進
- ④ 命を守る土砂災害防止対策の推進
- ⑤ くらしを守る海岸保全対策の推進
- ⑥ 農村地域における防災・減災対策の推進
- ⑦ 次世代へつなぐ強靱な道路の保全

(2) くらしの安全・安心

- ① 交通安全対策の推進
- ② 犯罪の起きにくいまちづくりと犯罪被害者等支援の充実
- ③ 消費生活の安定向上
- ④ 食品等の安全・安心の確保
- ⑤ 生活衛生対策等の推進
- ⑥ 安全・安心な建物と住まいの確保
- ⑦ くらしを支える水の安定供給の推進

(3) 医療

- ① 医療の安心を未来につなぐ
- ② 感染症対策の強化
- ③ 安全有効な医薬品等の安定供給の推進
- ④ 安心して暮らせる国民健康保険制度の運営

(4) 環境

- ① カーボンニュートラルの推進
- ② 生活環境の保全
- ③ 自然環境の保全と利用促進
- ④ 有明海の再生
- ⑤ 多様な森林（もり）・緑づくり
- ⑥ 廃棄物の減量化と適正処理による資源循環の推進

「支えよう！」支え合い、寄り添う やさしい地域

(1) 福祉

- ① 住民とともに支える地域共生社会の推進
- ② 高齢者がいきいき活躍する佐賀づくり
- ③ 障害者を支える福祉の充実
- ④ 障害者がいきいき働ける就労支援

(2) 健康

- ① 生涯を通じた健康づくりの推進
- ② がんを生きる社会づくり
- ③ 難病患者に寄り添った支援の充実

(3) 人権・共生

- ① 一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりの推進
- ② ジェンダー平等・男女共同参画の社会づくり

(4) さがすたいる

① さがすたいるの推進

「育もう！」かかわりあり子育て 笑顔あふれる未来

(1) 子育て

① 結婚や出産の希望が叶う環境づくり

② こども・若者を支え育てる環境づくり

③ 配慮が必要なこども・若者や家庭に寄り添う環境づくり

「交わろう！」動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

(1) 交通

① 未来を拓く幹線道路ネットワークの整備

② ぐらしに身近な道路の整備

③ 地域における多様な移動手段の確保

④ 公共交通の利用促進

⑤ 九州佐賀国際空港の発展

⑥ 唐津港・伊万里港等の利活用促進

「挑もう！」新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

(1) 雇用・労働

① 産業人材の育成・確保と多様な人材が活躍する職場づくりの支援

(2) 農業

① 稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げ

② 次世代の農業の担い手の確保・育成

③ 活力ある農村の実現

- (3) 林業
 - ① 持続可能な林業の確立
 - (4) 水産業
 - ① 玄海・有明海における魅力ある水産業の展開
 - (5) 企業立地・商工業
 - ① 成長産業の育成・集積
 - ② 産業用地の確保と企業誘致の推進
 - ③ 産業DXの推進とスタートアップの発掘・育成
 - ④ ものづくり産業の振興
 - ⑤ 地域資源を活用した産業の振興
 - ⑥ 中小企業の持続的発展、事業の高付加価値化に向けた支援
 - (6) エネルギー
 - ① 再生可能エネルギー等先進県の実現
 - (7) 流通
 - ① 佐賀県産品の国内外での販売促進
- 「創ろう！」スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造
- (1) スポーツ
 - ① トップアスリートの育成と地域が元気になるスポーツの推進
 - ② スポーツビジネスの推進

(2) 文化

- ① 多彩な文化芸術の振興
- ② 豊かな文化・歴史の継承と魅力発信

「輝こう！」いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地

(1) 地域づくり

- ① 自発の地域づくりの推進
- ② 快適で暮らしたくなるまちづくり

(2) 国際化

- ① 外国人とともに暮らす佐賀づくり
- ② 世界における佐賀のプレゼンス向上

(3) 観光

- ① 佐賀ならではの強みを活かした観光地域づくり
- ② M I C E 誘致の推進

(4) 情報発信

- ① 地域資源の効果的な情報発信

(5) 県民協働

- ① 多様な主体による協働社会づくり

「志そう！」志を胸に 骨太な人材の育成

(1) 教育

- ① 志と誇りを高める教育の推進
- ② 自分らしく学べる「さがん学び」の推進
- ③ 健やかな佐賀の子どもを育む教育の推進
- ④ 誰もが安心して学べる「さがすたいるスクール」の推進
- ⑤ 教育DXの推進と学びを支える環境づくり
- ⑥ 特色ある私立学校づくり
- ⑦ 高等教育機関の充実

(2) 生涯学習

- ① ライフステージに応じたまなびの環境づくり

理 由

県行政に係る基本的な計画を策定するに当たっては、佐賀県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件とする条例（平成21年佐賀県条例第29号）第3条第1項の規定により、議会の議決を必要とする。これが、この議案を提出する理由である。

令和5年6月15日提出

佐賀県知事 山口 祥 義

佐賀県施策方針2023（案）

令和5年6月 佐賀県

N E X T 佐 賀 ～新時代を切り拓く～

かつて佐賀は、3つの時代で輝きを放っていました。クニの始まりである弥生時代における象徴的存在の吉野ヶ里遺跡、安土桃山時代に綺羅星のごとく武将が集結し、様々な日本文化の“はじまりの地”となった肥前名護屋城、そして幕末維新时期において、最先端の科学技術力と人材育成で近代日本の礎を築いた佐賀藩です。時代の変革期に佐賀は歴史の主役でした。

そして今、私たちは時代の変革期にいます。デジタル技術の飛躍的な発展やグローバル化の一層の進展、国際情勢の不確実性の高まりなどは、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。さらに近年は気候変動により自然災害が頻発化・激甚化しています。このような中で、私は引き続き、県民の命と暮らしを守ることに全力を尽くしていきます。

これまで佐賀の未来にとって大切なこと、必要なことについては果敢にチャレンジしてきました。「自発の地域づくり」や「子育てし大県“さが”プロジェクト」、「SSP構想」、「森川海人プロジェクト」、「歩くライフスタイル」など、様々なプロジェクトが芽を出し、力強く育ってきています。

道路、空港、港湾など人とモノをつなぐネットワークが広がり、SAGAサンライズパークもグランドオープンを迎えました。SAGAアリーナでは佐賀県初となるイベントが続々と決定しており、新たなドラマと唯一無二の感動が生み出されます。

人々が集い新たな交流が生まれるまさに今、大切に育ててきた芽を花開かせていきます。

今般、様々な場面で県民の皆さまから伺った意見を踏まえ、「佐賀県施策方針2023」を創ります。この施策方針では、大きな方向性を示しながら、環境の変化に応じ、機動的かつ柔軟に対応していきます。

過去の延長線上には、佐賀の更なる飛躍はありません。時代の大きなうねりの中で、佐賀が新時代の旗手として日本をリードしてきたように、これから県民の皆さまと共に新たな時代を佐賀から切り拓いていきます。

佐賀県知事



目次

1	基本理念と佐賀の目指す8つの未来の姿	
1	基本理念	3
2	佐賀の目指す8つの未来の姿と主な取組	4
	「守ろう!」 先どる危機管理 安全・安心のまち	
	「支えよう!」 支え合い、寄り添う やさしい地域	
	「育もう!」 かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来	
	「交わろう!」 動き出す 人とモノをつなぐネットワーク	
	「挑もう!」 新たな価値を生み 挑戦を続ける産業	
	「創ろう!」 スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造	
	「輝こう!」 いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地	
	「志そう!」 志を胸に 骨太な人材の育成	
3	“佐賀らしさ”を磨くためのアプローチ	8
	さがデザイン	
	さがすたいる	
2	佐賀県の施策	
1	未来に向けた重点プロジェクト	9
	①救える命を救う取組	
	②子育てし大県“さが”プロジェクト	
	③森川海人っプロジェクト	
	④個性あふれる山の輝きの創造	
	⑤歩くライフスタイル	
	⑥佐賀で輝く人材×産業の創出	
	⑦さが園芸888運動	
	⑧SAGAスポーツピラミッド構想	
	⑨交流拠点“さが”	
	⑩デジタル実証フィールド“さが”	
2	8つの未来の姿に向けた施策	13
3	県政運営の基本姿勢と佐賀を取り巻く環境	
1	県政運営の基本姿勢	20
	(1) 県政運営のキーワード	
	(2) 取組推進に当たっての基本姿勢	
2	佐賀を取り巻く環境	21
	(1) 佐賀の強み	
	(2) 社会経済情勢	

基本理念と佐賀の目指す8つの未来の姿

1 基本理念

県政を進めていくためには、人に寄り添い、人と対話し、これまで受け継がれてきた人の「想い」を感じ取りながら、次の世代へ繋げていくことが大切です。

また、佐賀には、歴史や文化、美しい自然、豊かな食文化、地域の絆、陶磁器など、「本物」の地域資源があります。これらの“佐賀らしさ”の価値を私たち自身が再認識し、人から人へ伝えていくことがその価値を一層輝かせることとなります。

これからも世界に自信を持って誇れる佐賀をつかっていきたいという想いを込め、「佐賀さいこう！」をキャッチフレーズに、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を引き続き基本理念に掲げます。

基本
理念

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり



守
ろう!

先どる危機管理
安全・安心のまち

挑
もう!

新たな価値を生み
挑戦を続ける産業

支
えよう!

支え合い、寄り添う
やさしい地域

創
ろう!

スポーツ新時代の創出
佐賀らしい文化の創造

育
もう!

かかわりあう子育て
笑顔あふれる未来

輝
こう!

いきいきと自発の地域づくり
唯一無二の地

交
わろう!

動き出す人とモノを
つなぐネットワーク

志
そう!

志を胸に
骨太な人材の育成

さがデザイン

さがすたいる

2 佐賀の目指す8つの未来の姿と主な取組

基本理念に掲げる佐賀を目指すため、8つの未来の姿を描き、すべての基軸に人を置き、施策を推進していきます。

また、国際社会全体の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」や我が国が目指す未来社会である「Society5.0」を意識しながら、施策に取り組んでいきます。

守

ろう！

先どる危機管理 安全・安心のまち



県民の命や豊かな暮らしを守るため、内水氾濫をはじめ自然災害等を未然に防止する対策が進んでいる。大きな自然災害や新たな感染症が発生した場合でも、全国1位の高い組織率を誇る消防団や医師会等との連携により、速やかに命を守るチーム佐賀・オール佐賀の体制が整えられており、地域と行政が力を合わせて対応に当たり、被害や影響を最小限に抑えている。

県民全体で交通事故や犯罪等の防止に取り組んでおり、森・川・海とつながる豊かな自然環境の中で、県民が安心して暮らしている。



消防団員の確保



SAGA Doctor-S プロジェクト

主な取組

- ・消防団員の確保、PR
- ・SAGA BLUE PROJECT
- ・医療機関等との連携体制構築
- ・プロジェクト I F
- ・SAGA Doctor-S プロジェクト
- ・森川海人プロジェクト など

支

えよう！

支え合い、寄り添う やさしい地域



年齢や性別、国籍、障害のあるなしといった様々な「ちがひ」がある中で、それぞれが尊重しあい、自然に支え合っている。一人一人の痛みや想いに寄り添いながら多様な意見を取り入れて、佐賀らしい、やさしさのカタチである「さがすたいる」が広がって、誰もが自分らしくいきいきと暮らしている。



医療的ケア見支援



パートナーシップ宣誓制度

主な取組

- ・さがすたいるの推進
- ・医療的ケア見の支援
- ・パートナーシップ宣誓制度
- ・介護人材の確保
- ・がん検診の受診促進
- ・難病患者への支援体制の充実 など

育 もう!

かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来



すべての人が、様々な幸せのかたちを大切にしながら、安心して佐賀での生活、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てができています。

男性も女性も家事や子育てに主体的にかかわり、職場や地域の人々も、子育て世代を積極的に応援し見守っている。サポート体制が充実し、親は一人で悩むことなくいきいきと笑顔で子育てをしている。



出会い・結婚応援



保育士等の人材確保、質の向上

主な取組

- ・ 出会い・結婚応援
- ・ 保育士等の人材確保、質の向上
- ・ マイナス1歳からのイクカジ
- ・ アプリを活用した相談支援
- ・ 不妊・不育症治療の支援
- ・ 新刊児童書の全点購入 など

交 わろう!

動き出す 人とモノをつなぐネットワーク



有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備が進んでおり、九州佐賀国際空港や唐津港・伊万里港とともに、交流ネットワークが形成されている。

滑走路延長等で海外路線が増える九州佐賀国際空港を中心に、筑後・佐賀エリアが有明海沿岸道路で結ばれて北部九州の新たな発展軸として重要な役割を果たしている。

鉄道やコミュニティバス等の公共交通が地域の移動手段として維持されており、住民や国内外からの観光客の交流が盛んになっている。



広域幹線道路の整備



世界とつながる九州佐賀国際空港

主な取組

- ・ 有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備
- ・ 九州佐賀国際空港の利活用促進、滑走路延長（2,500m化）
- ・ 身近な道路（通学路等）の整備
- ・ 地域における多様な移動手段の確保
- ・ 唐津港・伊万里港の利活用促進 など

挑もう!

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業



スタートアップや成長産業の育成・集積が進み、DX・GXの推進とともに、地域資源を活用したビジネス、中小企業や伝統産業の新たなチャレンジが活発化。これらを通して、新たな価値を生み出すとともに、その価値を創り出す人材が集い、活躍している。

園芸・畜産を軸に「磨き、稼ぎ、つながる農業」が展開され、林業・水産業を含めブランド化やスマート化が進んでいく中で、持続可能な経営スタイルが確立し新たな担い手を呼ぶ好循環が生まれている。



Startup Gateway SAGA
コミュニティイベント



農林水産物のブランド化

主な取組

- ・プロジェクト65+
- ・半導体等の成長産業の育成・集積
- ・伴走支援によるDXやGXの推進
- ・スタートアップの発掘・育成
- ・さが園芸888運動
- ・農林水産業の担い手確保・育成、スマート農林水産業の促進
- ・佐賀牛の輸出促進 など

創ろう!

スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造



人々が「する」「育てる」「観る」「支える」といった自分なりのスタイルでスポーツに関わっており、スポーツビジネスの創出など新しいスポーツシーンが佐賀から始まっている。

SAGAサンライズパークでは、スポーツや文化による新たな感動が生まれている。

文化的・歴史的資産が大切に継承されるとともに、人々が多彩な文化芸術活動に触れ、佐賀の地から新たな文化が創造されている。また、それらの本物の魅力や唯一無二の体験が国内外に発信され多くの人々を魅了し、新たな交流が生まれている。



文化・芸術等の活動拠点 (市村記念体育館) の整備

SSP (SAGAスポーツピラミッド) 構想

主な取組

- ・SSP構想の推進
- ・スポーツビジネスの創出
- ・プロスポーツチームへの支援
- ・SAGA2024の開催
- ・文化・芸術等の活動拠点の整備
- ・佐賀さいこうフェスの開催
- ・「はじまりの名護屋城。」プロジェクト
- ・吉野ヶ里遺跡に関する情報発信 など

輝
こう！

いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地



人々が地域の歴史や文化、自然、豊かな食、伝統など、唯一無二の素晴らしさに気付
き、大きな誇りを感じるとともに、自発的な地域づくりが進んでいる。

国籍や民族などの異なる人々が、文化的背景や多様な価値観の違いを尊重しながら地
域の一員として活躍する多文化共生の社会が創られている。

佐賀が持つ本物の価値がデザインやコラボの手法で広く情報発信され、そこに惹かれ
た人々が世界中から佐賀県を訪れている。



自発の地域づくり
(吉田皿屋ひかりばし)



企業、コンテンツとのコラボ

- 主な取組
- ・自発の地域づくり
 - ・観光プロダクツの創出
 - ・企業、コンテンツとのコラボ
 - ・多文化共生
 - ・M I C E 誘致の促進
 - ・C S O 連携支援、誘致 など

志
そう！

志を胸に 骨太な人材の育成



こどもたちは、学びや様々な体験を通して佐賀の自然や歴史を感じ、志豊かな若者
となり、佐賀や世界で活躍している。

県内の学校はそれぞれにある唯一無二の特色を活かし、その魅力を感じた県内外から
の生徒で活気にあふれている。

県内の高等教育機関から多くの専門的で多様な人材を県内事業所に輩出している。



唯一無二の誇り高き学校づくり



S A G A 部活の推進

- 主な取組
- ・唯一無二の誇り高き学校づくり
 - ・特色ある私立学校づくり
 - ・弘道館 2
 - ・県立大学の調査・検討
 - ・S A G A 部活の推進
 - ・県立夜間中学の開校 など

3 “佐賀らしさ”を磨くためのアプローチ

施策推進に当たっては、2つのアプローチにより、“佐賀らしさ”を磨き上げ、取り組んでいきます。

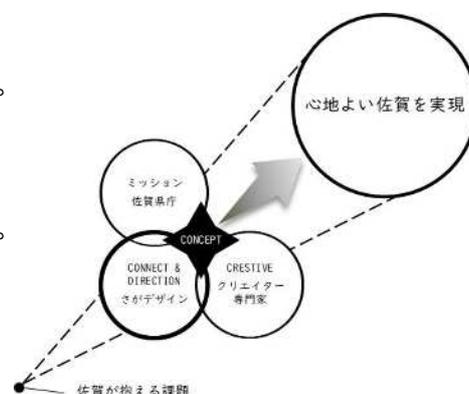


さがデザイン
さがをみがくしくみ

さがデザイン

県産品や街並みなどの「モノ」と、社会のシステムやサービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人のくらし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにする。

- さがデザインの領域は、ポスターやパッケージなどを単に「見た目をよくすること」ではありません。
- コンceptメイクや具体的な解決策の提案、そして誰もが心地よく関われる場づくりまで、「一貫した軸」を通して、心地よい佐賀を実現していきます。
- 県の職員とクリエイターが協働することで、ミッションとコンセプトを明確にし、デザイン思考で佐賀県全体を良くしていきます。



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

さがすたいる

多様な人々が交流し、相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、みんなが自然に支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていく。

- 佐賀県には、年齢、性別、国籍、障害の有無など、いろいろな個性があり、いろいろな想いをを持った80万人の県民が暮らしています。
- みんながお互いの想いに寄り添い、自然に支え合う、そんな佐賀らしい、やさしさのカタチが「さがすたいる」。
- お年寄りや障害のある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく過ごせる、やさしさにあふれた佐賀県を実現していきます。



Ⅰ 未来に向けた重点プロジェクト

今後4年間で特に力を入れていく「佐賀ならではの」「佐賀だからできる」重点プロジェクトを示します。

① 救える命を救う取組（災害対策、交通安全対策、がん対策）

【災害対策】

（方針）

災害を防止・軽減し、県民の命や暮らしを守るため、ハード・ソフト両面から対策を実施します。

（主な取組）

- ・市町と連携した消防団員の確保や県民の防災意識の向上（消防団のPR、CSOと連携した研修 など）
- ・河川、砂防ダム、クリーク、ため池などの整備・維持管理
- ・プロジェクトIF（浸水センサー等活用、田んぼダムの推進、クリーク・ダム等の事前放流、排水機場の機能向上、河川の浚渫 など） など



【交通安全対策】

（方針）

交通事故のない安全・安心な社会に向け、県民一人一人の意識向上に取り組みます。

（主な取組）

- ・SAGA BLUE PROJECT（様々な媒体を活用した注意喚起・啓発、路面表示のカラー化などのハード整備 など）
- ・危険箇所における防護柵等の安全施設の整備 など



【がん対策】

（方針）

がん検診の受診促進など、がん対策を更に進めます。

（主な取組）

- ・がん検診の受診率向上
- ・肝炎ウイルス検査受診促進等の肝がん対策の推進
- ・女性のがん（乳がん、子宮がん）対策の推進 など



② 子育てし大県 “さが” プロジェクト

（方針）

安心して楽しみながら子育てができ、こどもたちが骨太で健やかに成長できる環境を一層充実させます。

（主な取組）

- ・結婚を希望する人を応援する気運の醸成（出会いサポートセンター、若者向けライフデザインセミナーなど）
- ・妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援（アプリを活用した相談支援、不妊・不育症治療支援 など）
- ・こどもたちの様々な体験・交流活動の充実（弘道館2、SAGA Enji Basha など）
- ・みんなで子育てにかかわる気運の醸成（マイナス1歳からのイクカジ、共家事 など） など



③森川海人プロジェクト

(方針)

佐賀の豊かな自然を人が未来につなげるため、「森・川・海はひとつ」との思いを広げ、県民協働による森・川・海的环境保全を推進します。

(主な取組)

- ・環境保全意識を醸成する取組の推進
(イベントを通じた普及啓発、プラスマLifeさが など)
- ・県民協働による多様な森林(もり)づくり
(CSOなどとの連携による森林づくり、間伐や植栽の促進など)
- ・県民協働による河川、海域の環境保全
(クリーンアップ作戦、稚魚の放流 など) など



④個性あふれる山の輝きの創造

(方針)

すべての人に恩恵をもたらす源流である山の地域を活性化するため、山で様々な人々をつなぎ、自発的な活動の輪を広げます。

(主な取組)

- ・地域住民とともに山の素晴らしさの発信
(山の会議(仮)開催、山の魅力発信 など)
- ・山で暮らす人々が安心して永く住み続けられるための取組の推進
(中山間地の農林業を支える多様な人材確保、地域の特性を活かした農業の展開 など) など



⑤歩くライフスタイル

(方針)

過度なマイカー依存から、「歩く」あるいは「公共交通利用」を積極的に取り入れたライフスタイルへの転換を推進します。

(主な取組)

- ・徒歩や自転車、公共交通での移動を積極的に選択してもらうための仕掛けづくり
(SAGATOCOの活用、Ma a Sの推進 など)
- ・人が歩きたくなる環境づくり
(ARKSの活用、商業者の取組支援、幅の広い歩道の整備 など) など



⑥佐賀で輝く人材×産業の創出

(方針)

成長産業の育成・集積や中小企業の持続的発展を進めるとともに、若者の県内定着・回帰、本県産業を支える人材の育成・確保に取り組みます。

(主な取組)

- ・ 戦略的企業誘致の推進
(デジタル、グリーン、ヘルスケア分野などの企業誘致)
- ・ 産業人材の育成・確保
(プロジェクト65+、UJIターン人材確保、ものづくり人材やDX・GX人材などの育成・確保 など)
- ・ 高等教育機関の充実
- ・ 産業DXやGXの推進
(産業スマート化センター、GXの伴走支援 など)
- ・ スタートアップの発掘・育成
(個別指導プログラム、ビジネスプランコンテスト など)
- ・ 成長産業の育成・集積
(さが半導体フォーラム、コスメティック構想、DX・GX、JAXAとの連携による宇宙ビジネス など)
- ・ ものづくり産業の振興
(生産性向上支援、ものづくりの魅力発信 など)
- ・ 中小企業の経営支援
(新事業展開等の支援、円滑な事業承継の推進 など)
- ・ 地域資源の磨き上げ(サガマリアージュ、コスメなど) など



⑦さが園芸888運動

(方針)

所得の向上が期待できる園芸農業を磨き上げ、稼ぐ農業を実現し、次の世代につなげていきます。

(主な取組)

- ・ 園芸団地の整備・拡大
(まとまった農地と団地入植者の確保 など)
- ・ 露地野菜の生産拡大
(集荷作業の省力化、新規品目導入の推進 など)
- ・ 果樹園地の拡大
(平坦地における園地整備、高品質生産方式の拡大 など)
- ・ 担い手の確保・育成
(トレーニングファームの取組拡大、企業・法人の農業参入推進 など)
- ・ 県育成品種の生産拡大とブランド化
(「いちごさん」、「にじゅうまる」などの生産拡大 など) など



⑧ SAGAスポーツピラミッド構想

(方針)

アスリートの人生にコミットし、多くの県民がスポーツに関わり、日本で初めての世界水準のスポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを進めていきます。

(主な取組)

- ・アスリート・指導者の育成
(スポーツエリートアカデミーSAGA (SEAS)、デジタル技術・スポーツ医科学の活用、女性アスリート支援 など)
- ・アスリート・指導者の佐賀定着に向けた取組
(アスリートジョブサポ、企業等とのマッチング など)
- ・新たなスポーツビジネスの創出
(世界基準のスポーツホスピタリティの実現 など) など



⑨ 交流拠点 “さが”

(方針)

訪れる方が心地よく感じるまちづくり・地域づくりを進めることで、人・モノの交流を促進し、地域の活力向上につなげます。

(主な取組)

- ・地域資源の磨き上げ、情報発信
(佐賀でしか味わえない“唯一無二”の体験、企業、コンテンツとのコラボ など)
- ・新たな交流の創出
(SAGAアリーナを中心としたMICE開催の誘致、OPEN-AIR佐賀 など)
- ・交通ネットワークの整備
(Tゾーンの整備、滑走路延長(2,500m化)、多様な移動手段の確保 など) など



⑩ デジタル実証フィールド “さが”

(方針)

佐賀をデジタルの実証フィールドとし、あらゆる分野でデジタルの活用を進め、どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を実現します。

(主な取組)

- ・デジタル先進技術活用へのチャレンジ
(自動運転、ドローン、xR、衛星データ活用 など)
- ・あらゆる分野でのデジタル技術活用による社会課題解決
(スマート農林水産業、災害対策、アスリート育成 など) など



2 8つの未来の姿に向けた施策

8つの未来の姿に向けた26施策分野77施策を示します。



先どる危機管理 安全・安心のまち

施策分野	施策	主な取組
(1) 防災・減災・県土保全	①防災・減災等の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市町と連携した消防団員の確保、PR ・プロジェクトIF ・避難行動要支援者の避難支援体制の整備 ・災害支援CSO等との連携による県民の防災意識や災害対応力の向上
	②玄海原子力発電所の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策や廃止措置の実施状況確認 ・放射線・放射能調査及び情報提供
	③暮らしを守る治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備及び適切な維持管理 ・水防情報の提供
	④命を守る土砂災害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防ダム等の整備及び適切な維持管理 ・土砂災害に関する情報の提供
	⑤暮らしを守る海岸保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸堤防の整備・侵食対策及び適切な維持管理 ・水防情報の提供
	⑥農村地域における防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・クリークやため池等の整備、地すべり対策 ・クリーク等の事前放流、田んぼダムの推進
	⑦次世代へつなぐ強靱な道路の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁やトンネル等の適切な維持管理 ・緊急輸送道路等の要対策箇所の防災対策
(2) 暮らしの安全・安心	①交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「SAGA BLUE PROJECT」の推進 ・幼児から高齢者までの交通安全教育 ・歩道や防護柵、横断歩道等の交通安全施設の整備
	②犯罪の起きにくいまちづくりと犯罪被害者等支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム佐賀・オール佐賀での自主的な防犯活動の拡大 ・薬物乱用防止教育の充実 ・犯罪被害者やその家族に対する支援の充実
	③消費生活の安定向上	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害未然防止のための啓発活動・事業所指導の一体的展開 ・県内市町への「見守りネットワーク」設立促進 ・若者の適切な消費行動を育むための消費者教育の充実
	④食品等の安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の衛生管理の徹底、県民の意識啓発の推進 ・GAPの取組推進 ・事業者の食品表示適正化の推進
	⑤生活衛生対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活衛生施設（理容・美容・クリーニング等）、温泉施設への監視指導 ・地域猫活動の支援、ミルクボランティア事業
	⑥安全・安心な建物と住まいの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのバリアフリー化・省エネ化 ・既存住宅の利活用 ・建物の耐震化
	⑦暮らしを支える水の安定供給の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や生産・産業活動の源となる水の安定供給 ・水道管路更新の促進・水質管理の徹底 ・ダム等施設の適切な維持管理
(3) 医療	①医療の安心を未来につなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ・病床機能の分化・連携等の推進 ・地域包括ケアシステムの構築・ACPの普及啓発 ・SAGA Doctor-S プロジェクト等による医療従事者の確保・育成
	②感染症対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナを踏まえた感染症対策のための医療機関等との連携体制構築 ・感染症に関する正しい知識の普及啓発・情報提供・相談対応等
	③安全有効な医薬品等の安定供給の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の製造・販売に係る監視指導体制の維持・向上 ・献血者の確保のための若年層を中心とした普及啓発
	④安心して暮らせる国民健康保険制度の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・保健指導、糖尿病等の重症化予防の取組などによる医療費適正化の推進



先どる危機管理 安全・安心のまち

施策分野	施策	主な取組
(4) 環境	①カーボンニュートラルの推進	・「歩くライフスタイル」の推進など脱炭素型ライフスタイルへの転換促進 ・佐賀大学との共同の取組（C I R E n）推進
	②生活環境の保全	・大気・水環境等の保全のための工場等への監視指導 ・生活排水処理の最適化
	③自然環境の保全と利用促進	・「OPEN-AIR佐賀」の推進 ・県民協働による虹の松原の保全
	④有明海の再生	・開門調査を含めた環境変化の原因究明の国への要請 ・二枚貝類等の水産資源の回復に向けた取組
	⑤多様な森林（もり）・緑づくり	・県民協働による森林づくり・緑づくりの推進 ・間伐・植栽の促進
	⑥廃棄物の減量化と適正処理による資源循環の推進	・「プラスマL i f eさが」の展開 ・産業廃棄物処理事業者等へのリサイクルの支援



支え合い、寄り添う やさしい地域

施策分野	施策	主な取組
(1) 福祉	①住民とともに支える地域共生社会の推進	・CSOとの官民連携による包括的な相談支援等の体制づくり ・生活困窮者の自立支援
	②高齢者がいきいき活躍する佐賀づくり	・高齢者の社会参加促進 ・介護人材の確保 ・チームオレンジの設置推進など認知症の人とその家族を支える体制づくり
	③障害者を支える福祉の充実	・障害（者）に関する理解啓発・障害のある方との交流促進 ・グループホームの整備促進、地域生活支援拠点等の充実 ・医療的ケア児等の支援体制の整備
	④障害者がいきいき働ける就労支援	・福祉施設利用者等の一般就労支援 ・経営コンサルタント派遣や農福連携の推進等による工賃向上支援
(2) 健康	①生涯を通じた健康づくりの推進	・さが健康維新県民運動等による健康づくり ・次世代を担う子どもたち等への食育の推進 ・こころの悩みを抱える方への相談体制の充実
	②がんを生きる社会づくり	・がん検診の受診促進による受診率の向上 ・肝炎ウイルス検査の受診促進等の肝がん対策の推進 ・女性のがん（乳がん、子宮がん）対策の推進
	③難病患者に寄り添った支援の充実	・難病患者とその家族が安心できる相談体制の充実 ・難病診療連携コーディネーター等によるレスパイト入院等の支援 ・難病患者の就労支援
人権・共生 (3)	①一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりの推進	・あらゆる差別や誹謗中傷等を防止するための教育・啓発の推進 ・「人権啓発センターさが」を拠点とした相談・支援体制の充実 ・佐賀県パートナーシップ宣誓制度の普及啓発の推進
	②ジェンダー平等・男女共同参画の社会づくり	・ジェンダー平等の意識形成・行動変革の促進 ・女性活躍の推進 ・DV被害等の防止と支援の充実
たさがいる (4)	①さがすたいの推進	・子どもたちが多様性や人にやさしいまちづくりの必要性を学ぶ機会の創出 ・多様な人々の交流機会の創出 ・現場の声と想いや当事者視点を取り入れた施設改修・サービス提供



かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来

施策分野	施策	主な取組
(一) 子育て	①結婚や出産の希望が叶う環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚に対する気運の醸成、出会いの場の創出等 ・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援 (アプリを活用した相談支援、マイナス1歳からのイクカジ など)
	②子ども・若者を支え育てる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の人材の育成・確保 ・子育てを応援する気運の醸成 ・様々な体験・交流活動を通じた子どもたちの骨太に学び育つ環境づくり
	③配慮が必要な子ども・若者や家庭に寄り添う環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の早期発見や家庭的環境での養育推進 ・妊産婦や日常生活が困難な児童・家族への支援 ・困難を抱えた子ども・若者の自立支援



動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

施策分野	施策	主な取組
(一) 交通	①未来を拓く幹線道路ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号等の整備 ・広域幹線道路を補完する幹線道路やICアクセス道路の整備
	②くらしに身近な道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の拡幅やバイパスの整備 ・歩道や自転車通行空間等の整備 ・通学路の点検及び要対策箇所の整備
	③地域における多様な移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段確保の検討 ・見直しを行う市町等の支援
	④公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用の機運醸成 ・Ma a S、オープンデータ活用など利用しやすい環境整備 ・長崎本線沿線地域における駅を中心とした交流拠点整備
	⑤九州佐賀国際空港の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・空港の利活用促進 ・国内外路線の積極的誘致 ・滑走路延長(2,500m化)の取組推進 ・空港のDX化・脱炭素化
	⑥唐津港・伊万里港等の利活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・新規航路開設など港湾の利便性向上 ・港湾施設の機能強化



新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

施策分野	施策	主な取組
労働・雇用 (1)	①産業人材の育成・確保と多様な人材が活躍する職場づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト65+、大学生・UJIターン人材・外国人材等の県内就職促進 ・技能継承、若手技能者の育成、デジタル分野等のリスキリング ・「ワーク・ライフ・バランス」の推進
(2) 農業	①稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・さが園芸888運動の推進 ・「佐賀牛」の生産基盤の強化 ・新品種・新技術の開発・普及 ・多様な雇用人材の確保と調整の仕組みづくり
	②次世代の農業の担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングファームの取組拡大による意欲ある新規就農者の確保 ・経営力のある担い手の育成や女性農業者の活躍推進 ・企業等の農業参入や規模拡大、農地の集積・集約の促進
	③活力ある農村の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・さが農業・農村の魅力の発信 ・中山間地域農業対策の推進 ・農地・農業水利施設等の適正な管理 ・地域ぐるみでの有害鳥獣被害対策の推進
林業 (3)	①持続可能な林業の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・さかの林業再生プロジェクト ・サガンスギでの再造林等推進 ・公共施設等における県産木材の積極的利活用
水産業 (4)	①玄海・有明海における魅力ある水産業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・玄海、有明海の水産資源回復 ・漁業のスマート化 ・意欲ある新規就業者の確保 ・有明海におけるノリ養殖の生産安定
(5) 企業立地・商工業	①成長産業の育成・集積	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の成長産業分野（半導体、DX・GX、再生可能エネルギー、コスメ、宇宙など）への参入促進 ・成長産業分野の企業誘致
	②産業用地の確保と企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用地の整備推進 ・多様で魅力のある地域の活力向上や経済成長につながる企業誘致
	③産業DXの推進とスタートアップの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・産業スマート化センターを核とした県内企業のDXの「裾野」拡大 ・「佐賀型」スタートアップ支援による起業家掘り起こし・ビジネス創出
	④ものづくり産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり企業の新技術・新製品の開発、成長産業分野への参入、人材の育成・確保への支援 ・ものづくりの素晴らしさや楽しさに触れる機会の創出 ・伊万里・有田焼等の伝統産業企業のブランディング・販路開拓等の支援
	⑤地域資源を活用した産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の高付加価値化・ビジネス化の取組支援等（コスメティック構想、サガマリアージュなど）
	⑥中小企業の持続的発展、事業の高付加価値化に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業展開等における事業計画、商品・サービスの磨き上げの支援 ・経営改善・経営力強化への支援 ・事業承継の推進
エネルギー (6)	①再生可能エネルギー等先進県の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀大学との共同の取組（CIREN）推進 ・水素エネルギーへの転換促進 ・県内発の再生可能エネルギー関連技術・製品の国内外への普及拡大
流通 (7)	①佐賀県産品の国内外での販売促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農水産物や酒、陶磁器等のブランド力向上と販売促進 ・佐賀牛、佐賀酒等の県産品のアジアや欧米等への輸出促進 ・サガマリアージュの推進



スポーツ新時代の創出 佐賀らしい文化の創造

施策分野	施策	主な取組
スポーツ (1)	① トップアスリートの育成と地域が元気になるスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・SSP構想に沿ったアスリートや指導者等の人材育成・佐賀定着 ・誰もがそれぞれのスタイルでスポーツに取り組むことができる環境づくり ・SAGA2024の開催と開催後の新しいスポーツ文化の定着 ・県外のトップレベルチーム等の事前キャンプ等の誘致を通じた佐賀の魅力の国内外への発信 ・佐賀が誇るプロスポーツチームへの支援
	② スポーツビジネスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・SAGAサンライズパークの夢や感動を生み出すスポーツの一大拠点化 ・SAGAアリーナを核としたスポーツホスピタリティの実現
文化 (2)	① 多彩な文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀さいこうフェスなど多彩な文化芸術活動に触れ、自ら取り組む機会の創出 ・文化芸術を通じた交流 ・障がい者の文化芸術活動の支援と社会参画の促進
	② 豊かな文化・歴史の継承と魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじまりの名護屋城。」プロジェクトや吉野ヶ里遺跡の情報発信等による歴史や文化の魅力の磨き上げ ・佐賀の偉人や偉業の顕彰等による県民の郷土への愛着や誇りの醸成 ・佐賀を舞台・題材にした映画・ドラマ等の誘致による文化的・歴史的の魅力の国内外への発信



いきいきと自発の地域づくり 唯一無二の地

施策分野	施策	主な取組
地域づくり (1)	① 自発の地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自発の地域づくりの取組への支援 ・中山間地・離島等の地域に寄り添った支援 ・佐賀への共感を促す取組を通じた移住促進
	② 快適で暮らしたくなるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市町による適正な土地利用やまちづくりを促進する取組の支援 ・歩きたくなる空間創出など地域に応じた街路の整備 ・それぞれの魅力を活かした公園の整備と利活用の促進 ・県民・市町による景観づくりの取組支援
国際化 (2)	① 外国人とともに暮らす佐賀づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域日本語教室等の場を活用した自発的な多文化共生の地域づくり ・企業等における多文化共生のマインド醸成と働きやすい環境づくり
	② 世界における佐賀のプレゼンス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀の魅力の戦略的な海外への発信 ・海外からの評価を強みとした交流の促進と海外活力の取り込み ・フィンランド、スペイン、オランダ、タイなどの政策的な連携の推進
観光 (3)	① 佐賀ならではの強みを活かした観光地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀の本物の価値の磨き上げによる観光プロダクツの創出（「OPEN-AIR佐賀」の推進、ガストロノミーの環境づくりなど） ・国内外への効果的な情報発信 ・佐賀らしく温かく迎え入れる受入環境の充実
	② MICE誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・SAGAアリーナを中心としたMICE開催の誘致
発信情報 (4)	① 地域資源の効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かしたコンテンツ創出やプロモーションの実施 ・企業、コンテンツとのコラボの推進 ・評価されたコンテンツ等の県内へのフィードバック
協働 協働市民 (5)	① 多様な主体による協働社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・CSO・企業の協働の更なる推進 ・国内外で活躍するCSOの誘致



志を胸に 骨太な人材の育成

施策分野	施策	主な取組
(一) 教育	①志と誇りを高める教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・唯一無二の誇り高い学校づくり ・キャリア教育の充実 ・ふるさと佐賀への誇りや深い愛着を持った人材の育成
	②自分らしく学べる「さがん学び」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「さがん学びプロジェクト」 ・中高生の海外での挑戦や外国人児童生徒に対する支援
	③健やかな佐賀のこどもを育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力・運動能力等の向上 ・健康に対する意識の醸成 ・SAGA部活の推進 ・道徳教育、人権・同和教育等の心の教育の充実
	④誰もが安心して学べる「さがすたいるスクール」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の体制づくり ・県立夜間中学（「彩志(さいし)学舎中学校」）の開校 ・不登校・いじめの相談体制の充実
	⑤教育DXの推進と学びを支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用し課題解決に向かう力の育成 ・豊かな人間性や実践的な指導力を備えた教職員の確保・育成
	⑥特色ある私立学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫による特色ある学校づくりと魅力の発信 ・県外流出防止と県内職業人材の確保 ・専修学校支援
	⑦高等教育機関の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「TSUNAGIプロジェクト」 ・産学官連携による県内大学生等の県内定着促進 ・県立大学の調査・検討
学生(2) 学習(2) 生涯(2)	①ライフステージに応じたまなびの環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの機会の充実（はじめてのまなび応援、弘道館2 など） ・誰もが本に親しむ環境づくりの充実（県内司書のレベルアップ、県立図書館における新刊児童書全点購入 など）

SDGsを踏まえた取組

国際社会全体の目標でもある「持続可能な開発目標（SDGs）」については、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

この理念は、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」という佐賀県の基本理念と方向性が同じです。

SDGsの目指す、持続可能な社会を実現していくためには、個人や事業者、団体、行政が、それぞれの立場で「できること」を「自分ごと」としてやっていくことが大切です。

そのため、8つの未来の姿に向けた77の施策の推進に当たっては、関連するSDGsを意識しながら取り組んでいきます。

その中でも、下に示すような佐賀の土壤に合った佐賀らしいやり方で、CSOや事業者の方々と一緒に、「佐賀版SDGs」を進めていきます。



森川海人っプロジェクト



「森・川・海はひとつ」であり、山と海のつながりを感じながら、県民協働により、佐賀の豊かな自然を未来につないでいきます。



歩くライフスタイル



「歩こう。佐賀県」をスローガンに、歩くことや自転車、公共交通などマイカー以外の移動手段を暮らしの中に取り入れる取組。歩くことで健康が増進され、歩くライフスタイルへの転換が進むことにより、温室効果ガスの排出削減につながります。



さがすたいる



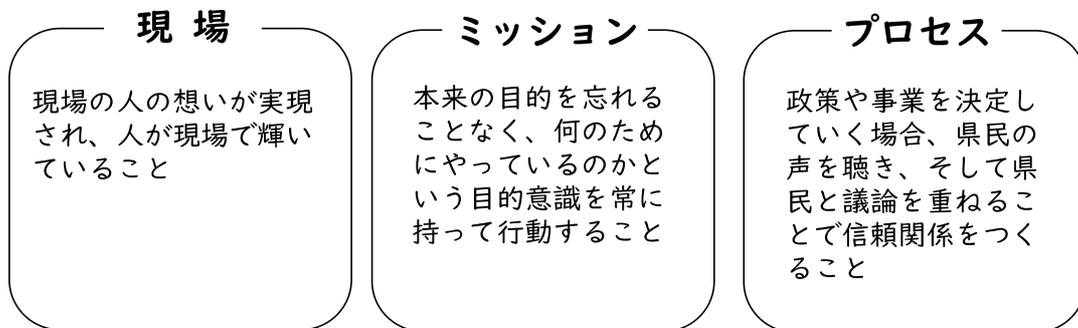
障害のある方など当事者の意見を取り入れた人にやさしい施設やサポート体制を広めていきます。また、障害のある方も高齢者、子育て・妊娠中の方なども安心して参加し、楽しめるイベントなどを実施し、県民一人一人がお互いを知り、認め合い、年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらず、みんなが自然に支え合い、心地よく過ごせる佐賀らしい社会を実現していきます。

施策を推進するに当たって、県庁組織と県職員の基本姿勢、佐賀を取り巻く環境について示します。

I 県政運営の基本姿勢

(1) 県政運営のキーワード

佐賀県庁の存在意義は、県民一人一人の幸せの向上であり、その目的を達成するため、現行の制度やルール等について、県民のためになっているか、現場の実態と乖離がないか等を常に意識し、県民目線で議論を行うとともに、透明で信頼される県政を推進します。



(2) 取組推進に当たっての基本姿勢

① 県民と地域が主役の佐賀づくり

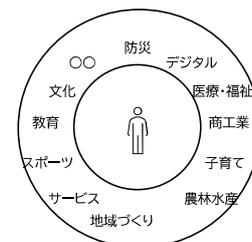
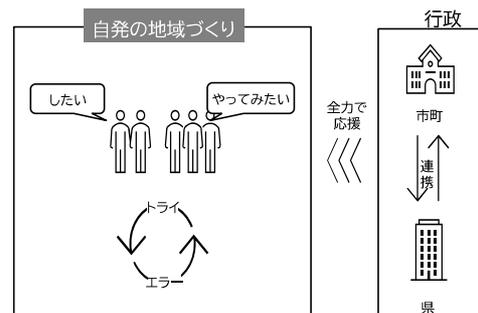
- ✓ 県民と地域が主役
- ✓ 市町との連携

② 県民から信頼される県庁づくり

- ✓ 人が中心の県政
- ✓ コンプライアンス
- ✓ 危機管理体制

③ 行財政運営

- ✓ 効果的かつ効率的な行政運営
- ✓ 安定的かつ弾力的な財政運営



2 佐賀を取り巻く環境

(1) 佐賀の強み

① 地理的優位性

- ・東アジア諸国の主要都市に近接
- ・成長を続ける空と海の良港
- ・九州の人とモノをつなぐ交通の要衝 など

④ 産業

- ・ものづくりのDNAが脈々と受け継がれている
- ・県独自のDX推進とスタートアップ発掘・育成
- ・デジタル社会を支える半導体関連企業
- ・長年の研究の成果
「サガンスギ」「にじゅうまる」「いちごさん」 など

② 交流拠点

- ・唯一無二の感動と心躍る体験
「SAGAサンライズパーク」
- ・カジュアルに自然を体感
「OPEN-AIR佐賀」 など

⑤ 自然

- ・人々に恵みをもたらす源流
「天山、多良岳など緑豊かな山々」
- ・2つの豊饒な海
「有明海、玄界灘」 など

③ 歴史・文化

- ・我国で唯一、クニの成り立ちがわかる
「吉野ヶ里遺跡」
- ・日本文化発展の“はじまりの地”
「肥前名護屋城」
- ・近代日本の礎を築いた
「幕末維新の佐賀」 など

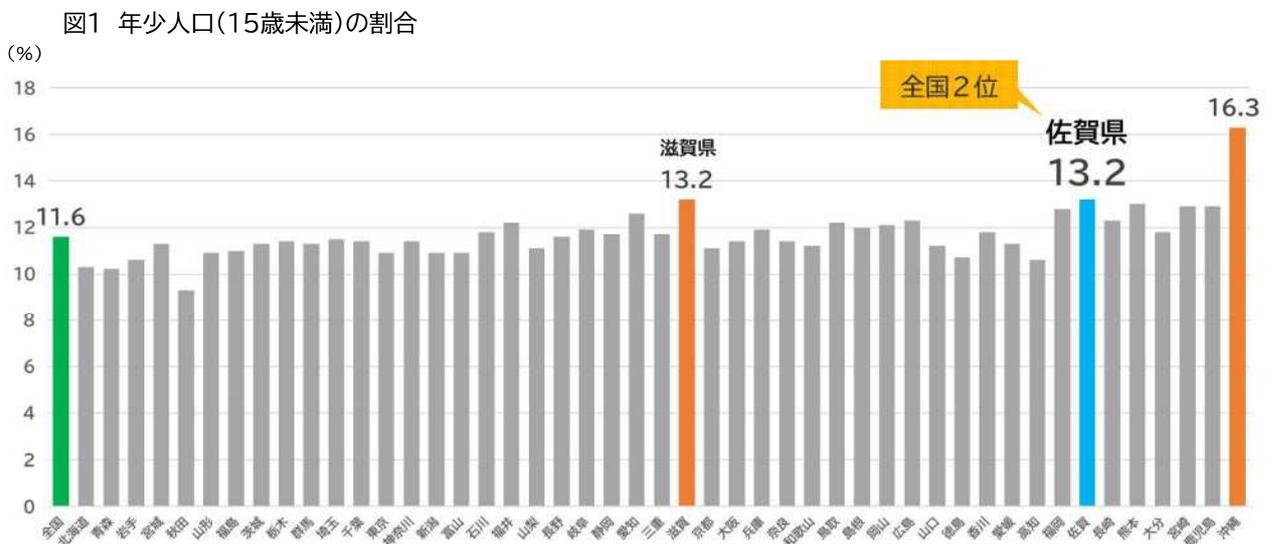
⑥ 人と人との強い絆

- ・組織率全国1位
「消防団」
- ・地域のコミュニティ
「三夜待」 など

(2) 社会経済情勢

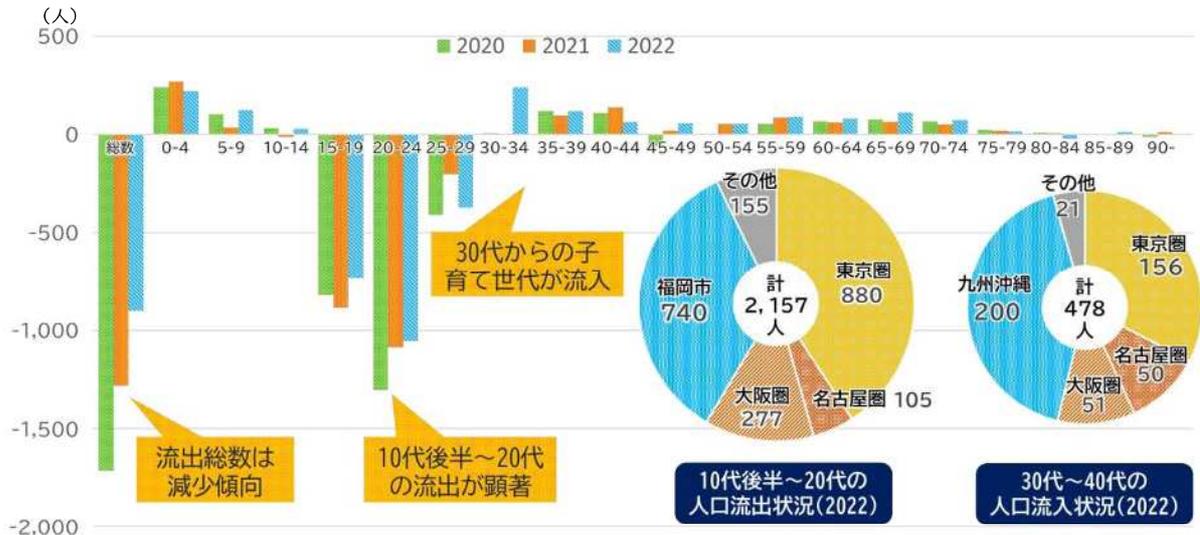
① 人口

- ・国内の少子化は深刻さを増しており、2022年の国内の出生数は80万人を割り込み過去最少となり、政府の予測よりも8年早いペースで少子化が進行するなど、喫緊の課題となっています。
- ・一方、本県の人口は80万人を割り込むなど減少傾向ですが、15歳未満のこどもの数は、対人口比で全国2位と高い水準にあります。（図1）
- ・高校卒業後の進路について、就職者数約2,000人のうち、約35%が県外へ就職しており、また大学に進学する約3,400人のうち、80%以上が県外へ進学しています。人口の流出総数は減少傾向にあるものの、就職や進学を契機とした若年層の県外転出超過が続く一方で、それ以外の年代では転入超過となっており、特に30代、40代の子育て世代の転入が多いのが特徴です。（図2）



(出典：総務省「人口推計」)

図2 年代別社会増減



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

② 経済を取り巻く状況の変化

- ・我が国では、IoTやビッグデータ、AI、ロボット等のデジタル技術を活用し、産業や社会生活を変革するDXの推進を通じて、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会「Society5.0」の実現を目指し、これまでの延長線上にはない革新的なアイデアや技術の創造が求められています。
- ・世界中で温室効果ガスの削減に向けた取組が行われる中、我が国においても、2050年までのカーボンニュートラル実現を目標に、省エネルギーやエネルギー・産業部門の構造転換、大胆なグリーン投資など、GX実現に向けた取組の推進が見込まれます。
- ・コロナ禍からの社会経済活動の回復の本格化に伴い、景気が緩やかに持ち直す中、人口減少や少子高齢化の急速な進展により、地方を中心に労働力不足が深刻化しています。県内でも、有効求人倍率が全国を上回って推移し、建設業や医療・福祉など多くの産業において、労働力不足が課題となっており、元気な高齢者や外国人材の活躍が注目されています。
- ・本県の外国人観光客は、2019年には125万9千人となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国制限により大きく減少しました。その後、水際対策の大幅な緩和により、九州佐賀国際空港においては台北便の運航が、唐津港においては国際クルーズ船の寄港がそれぞれ本年4月に再開され、今後、他の国際線の再開も見込まれるなど、インバウンドの回復・増加が期待されています。

③ 生活を取り巻く状況の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、人々の価値観や行動様式が劇的に変化し、仕事や日常生活において、テレワークやキャッシュレス化などのデジタル化が加速しています。
- ・平均気温の上昇などによる気候変動に伴い大雨や猛暑が今後も懸念されています。県内では、2018年から4年連続で大雨特別警報が発表され、災害が激甚化・頻発化しています。災害を防止・軽減するため、平時からハード・ソフト両面の準備が大切です。
- ・全国の一人当たり社会保障給付費は高齢化に伴い増加しており、今後も増加が見込まれています。本県でも65歳以上の老年人口の割合が更に高まる見込みとなっており、生活習慣病の予防や特定検診の受診などの健康づくりの取組の重要性が高まっています。

位置付け

この施策方針は、佐賀の目指す将来（10年後）の姿を見据え、その実現に必要な4年間（令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）まで）の県の方針を示すものです。

また、県が県民やCSO、企業、市町などと協働して取り組んでいくためのガイドライン（共通の指針）となるものです。

毎年度実績評価を行い、施策方針の見直しや新たな取組等の企画立案を行い、それを施策方針に反映させていく「進化型」とします。

この施策方針の関係部分は、次の計画に位置付けます。

- ① まち・ひと・しごと創生法第9条第1項の規定に基づくまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画
- ② 佐賀県知的財産を大切に、みんなで守り、育て、新たに生み出す条例第4条第4項の規定に基づく基本構想
- ③ 教育基本法第17条第2項の規定に基づく佐賀県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画



▶ 「佐賀県施策方針2023」に関するお問合せ

佐賀県 政策チーム

TEL 0952(25)7541 FAX 0952(25)7263
✉ seisakuteam@pref.saga.lg.jp

令和5年6月定例教育委員会資料

(令和5年6月14日)

議 事 【公 開】

佐賀県教育委員会

付第5号議案

県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）
について

このことについて、別紙のとおり制定する。

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）の概要

教育委員会事務局 教育振興課

改正の理由

県立夜間中学（佐賀県立彩志学舎中学校）の設置に伴い、所要の改正を行う必要があるため。

改正内容

- 1 県立夜間中学において休学や再入学を可能とする等、必要な規定を整備することとした。
（第26条、第28条、第32条、第33条、第35条関係）
- 2 令和5年7月1日から施行

佐賀県教育委員会規則第 号

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）

佐賀県立学校の管理に関する規則（平成23年佐賀県教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正前	改正後
<p>(休学)</p> <p>第26条 高等学校又は特別支援学校の高等部の生徒で病気で病気が得ない事由により1月以上就学することができず、その事由及び期間を付し、医師の証明書その他その事由を証する書類を添えて、校長に休学を願ひ出ることができ、</p> <p>2・3 略</p> <p>(就学督促及び出席停止)</p> <p>第28条 校長は、中学校の生徒並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒が、休業日を除き引き続き7日間出席せず、その他出席状況が良好でない場合において、そのことについて保護者に正当な理由がないと認められるときは、保護者に児童又は生徒の出席を督促するとともに、その旨を当該生徒の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>2・3 略</p> <p>(卒業の認定)</p> <p>第32条 略</p> <p>2～5 略</p> <p>6 中学校又は特別支援学校の校長は、毎年度終了後速やかに、中学校を卒業した者の氏名をその者の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>(退学)</p>	<p>(休学)</p> <p>第26条 高等学校、特別支援学校の高等部又は夜間中学の生徒で病気が得ない事由により1月以上就学することができず、その事由及び期間を付し、医師の証明書その他その事由を証する書類を添えて、校長に休学を願ひ出ることができ、</p> <p>2・3 略</p> <p>(就学督促及び出席停止)</p> <p>第28条 校長は、中学校（夜間中学を除く。）の生徒並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒が、休業日を除き引き続き7日間出席せず、その他出席状況が良好でない場合において、そのことについて保護者に正当な理由がないと認められるときは、保護者に児童又は生徒の出席を督促するとともに、その旨を当該児童又は当該生徒の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>2・3 略</p> <p>(卒業の認定)</p> <p>第32条 略</p> <p>2～5 略</p> <p>6 中学校（夜間中学を除く。）又は特別支援学校の校長は、毎年度終了後速やかに、中学校又は特別支援学校の小学部若しくは中学部を卒業した者の氏名をその者の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>(退学)</p>

改正前	改正後
<p>第33条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 中学校の校長は、生徒が退学したときは、速やかに、その旨を当該生徒の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>(再入学)</p> <p>第35条 高等学校及び特別支援学校の高等部を退学し、又は除籍された者で、退学又は除籍の日から2年以内に再入学を希望するのは、その旨を校長に願い出ることができる。</p> <p>2 略</p>	<p>第33条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 中学校（夜間中学を除く。）の校長は、生徒が退学したときは、速やかに、その旨を当該生徒の住所の存する市町の教育委員会に通知しなければならない。</p> <p>(再入学)</p> <p>第35条 高等学校、特別支援学校の高等部及び夜間中学を退学し、又は除籍された者で、退学又は除籍の日から2年以内に再入学を希望するのは、その旨を校長に願い出ることができる。</p> <p>2 略</p>

附 則

この規則は、令和5年7月1日から施行する。

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）について

1 佐賀県立学校の管理に関する規則とは

- ・佐賀県立学校における管理運営の基本的な事項を定めたものである。
対象となる県立学校には、県立高等学校及び県立特別支援学校、県立中学校がある。

2 改正理由

- ・県立夜間中学である彩志学舎中学校は、義務制である県立中学校と以下の点が異なるため、設置に伴い、本規則に所要の改正を行う必要がある。

【相違点】

- (1) 彩志学舎中学校は、修業年限が最長6年間である。
- (2) 彩志学舎中学校は、学齢期を過ぎた方が入学対象生徒である。

3 改正内容

- (1) 彩志学舎中学校は、様々な理由により中学校の教育を十分に受けられなかった方のための「学び直し」の学校であるため、修業年限を最大6年としている。そのため、休学と再入学の規定が新たに必要であることから追加する。

(第26、35条)

- (2) 彩志学舎中学校の入学対象者は学齢期を過ぎた方であることから、在籍する生徒に対し、就学督促及び生徒が住所を有する市町教育委員会への通知義務を必要としないことから除外する。

(第28条)

- (3) 彩志学舎中学校の入学対象者は学齢期を過ぎた方であることから、卒業又は退学した生徒について、生徒が住所を有する市町教育委員会へ通知する必要がないことから除外する。

(第32、33条)

4 施行日

- ・令和5年7月1日

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則（案）について

1 「休学」（第26条）及び「再入学」（第35条）について

➡ 現行規則に、「夜間中学」を追加する。

【理由】

- ・中学校の修業年限は3年であるため、県立中学校には「休学」及び「再入学」の規定がない。
- ・夜間中学は修業年限を最大6年としているため、「休学」及び「再入学」について規定する必要がある。

2 「就学督促」（第28条）について

➡ 現行規則から「夜間中学」を除外する。

【理由】

- ・県立中学校においては、出席状況が良好でない場合に保護者に生徒の出席を督促する規定がある。
- ・夜間中学の入学対象者は学齢期を過ぎた方であることから、保護者へ出席を督促する必要がない。

3 「卒業認定」（第32条）及び「退学」（第33条）について

➡ 現行規則から「夜間中学」を除外する。

【理由】

- ・県立中学校においては、生徒が卒業または退学した場合に、市町の教育委員会に通知する規定がある。
- ・夜間中学の入学対象者は学齢期を過ぎた方であることから、生徒の卒業または退学について、市町の教育委員会へ通知する必要がない。

令和5年6月定例教育委員会資料

(令和5年6月14日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和6年度以降に県内の小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部において使用する教科用図書の採択について

1 採択基準の在り方について

- (1) 教育的見地と公正な立場を堅持し、慎重かつ適正に行うこと。
- (2) 県教育委員会の示す教科用図書選定の資料を十分に活用すること。
- (3) 教科用図書を研究し、その結果を慎重に検討・協議して採択すること。

2 採択を適正に実施するための手続きについて

- (1) 市町教育委員会は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。
 - ① 同一採択地区内の市町教育委員会は、共同して採択地区協議会を設置すること。
 - ② 採択地区協議会で種目ごとに1種選定したものを、各市町教育委員会が採択すること。
 - ③ 採択地区協議会の構成は、市町教育委員会の委員、教育長、小・中学校及び義務教育学校の校長、指導主事、保護者代表等とし、その数は、地区の実情に応じ適宜決めること。
 - ④ 採択地区協議会には、選定のために参考となる事項を検討するための選定委員会を置くこと。
 - ⑤ 採択地区協議会には、専門的な調査研究を行わせるために、必要に応じて研究員等を置くこと。
 - ⑥ 教科用図書の選定に当たっては、学校の意見が反映されるように配慮すること。
 - ⑦ 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。
- (2) 県教育委員会は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。
 - ① 各県立特別支援学校は、選定のための検討委員会を設け、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。
 - ② 検討委員会の委員数や構成については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、保護者代表等とし、その数は、各学校の実情に応じ適宜決めること。
 - ③ 検討委員会には、専門的な調査研究を行わせるために、必要に応じて研究員等を置くこと。
 - ④ 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。

(3) 国立大学法人附属小学校及び、附属特別支援学校の校長は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。

① 国立大学法人附属小学校及び、附属特別支援学校は、県教育委員会からの指導・助言・援助に基づき、検討委員会を設けるなど、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。

(4) 以上の方法により採択された教科用図書は、学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書を採択する場合を除き、小学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校小学部は4年間、毎年度種目ごとに同一のものを採択すること。

3 選定に際して参考とすべき資料について

県教育委員会が教科用図書選定審議会の調査・研究結果をもとに作成した教科用図書選定の資料（別添資料）を用いること。

令和6年度に県内の特別支援学校小学部、中学部及び小学校、中学校、義務教育学校の特別支援学級において学校教育法附則第9条第1項の規定により使用する教科用図書の採択について

1 採択基準の在り方について

- (1) 教育的見地と公正な立場を堅持し、慎重かつ適正に行うこと。
- (2) 児童生徒の障害の状態及び発達の段階や特性に最もふさわしい教科用図書を採択すること。
- (3) 県教育委員会の示す教科用図書選定の資料を十分に活用すること。
- (4) 教科用図書を研究し、その結果を慎重に検討・協議して採択すること。

2 採択を適正に実施するための手続きについて

- (1) 各学校は、選定のための検討委員会を設け、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。
- (2) 検討委員会の構成については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、保護者代表等とし、その数は、各学校の実情に応じ適宜決めること。
- (3) 教科用図書の採択に当たっては、学校の検討結果が反映されるように配慮すること。
- (4) 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。

3 選定に際して参考とすべき資料について

県教育委員会が教科用図書選定審議会の調査・研究結果をもとに作成した教科用図書選定の資料（別添資料）を用いること。



別添資料 1

令和5年6月2日

佐賀県教育委員会 様

佐賀県教科用図書選定審議会会長



令和6年度以降に県内の小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校
小学部において使用する教科用図書の採択について（答申）

令和5年4月20日付けで諮問がありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

1 採択基準の在り方について

- (1) 教育的見地と公正な立場を堅持し、慎重かつ適正に行うこと。
- (2) 県教育委員会の示す教科用図書選定の資料を十分に活用すること。
- (3) 教科用図書を研究し、その結果を慎重に検討・協議して採択すること。

2 採択を適正に実施するための手続きについて

- (1) 市町教育委員会は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。
 - ① 同一採択地区内の市町教育委員会は、共同して採択地区協議会を設置すること。
 - ② 採択地区協議会で種目ごとに1種選定したものを、各市町教育委員会が採択すること。
 - ③ 採択地区協議会の構成は、市町教育委員会の委員、教育長、小・中学校及び義務教育学校の校長、指導主事、保護者代表等とし、その数は、地区の実情に応じ適宜決めること。
 - ④ 採択地区協議会には、選定のために参考となる事項を検討するための選定委員会を置くこと。
 - ⑤ 採択地区協議会には、専門的な調査研究を行うために、必要に応じて研究員等を置くこと。
 - ⑥ 教科用図書の選定に当たっては、学校の意見が反映されるように配慮すること。
 - ⑦ 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。

(2) 県教育委員会は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。

- ① 各県立特別支援学校は、選定のための検討委員会を設け、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。
- ② 検討委員会の委員数や構成については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、保護者代表等とし、その数は、各学校の実情に応じ適宜決めること。
- ③ 検討委員会には、専門的な調査研究を行わせるために、必要に応じて研究員等を置くこと。
- ④ 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。

(3) 国立大学法人附属小学校、附属特別支援学校の校長は、次に掲げる事項に配慮して採択を適正に実施するための手続きを行うこと。

- ①国立大学法人附属小学校及び附属特別支援学校は、県教育委員会からの指導・助言・援助に基づき、検討委員会を設けるなど、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。

(4) 以上の方法により採択された教科用図書は、学校教育法附則第9条第1項の規定する教科用図書を採択する場合を除き、小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部は、4年間、毎年度種目ごとに同一のものを採択すること。

3 選定に際して参考とすべき資料について

県教育委員会は、本審議会の調査・研究結果をもとに選定に必要な資料を作成すること。

令和5年6月2日

写

佐賀県教育委員会 様

佐賀県教科用図書選定審議会会長



令和6年度に県内の特別支援学校小学部及び中学部並びに小学校及び中学校、義務教育学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択について(答申)

令和5年4月20日付けで諮問がありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

1 採択基準の在り方について

- (1) 教育的見地と公正な立場を堅持し、慎重かつ適正に行うこと。
- (2) 児童生徒の障害の状態及び発達の段階や特性に最もふさわしい教科用図書を採択すること。
- (3) 県教育委員会の示す教科用図書選定の資料を十分に活用すること。
- (4) 教科用図書を研究し、その結果を慎重に検討・協議して採択すること。

2 採択を適正に実施するための手続きについて

- (1) 各学校は、選定のための検討委員会を設け、適正な教科用図書の選定が行われるようにすること。
- (2) 検討委員会の構成については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、保護者代表等とし、その数は、各学校の実情に応じ適宜決めること。
- (3) 教科用図書の採択に当たっては、学校の検討結果が反映されるように配慮すること。
- (4) 採択した教科用図書については、当該教科用図書の種類等について積極的に公表するよう努めること。

3 選定に際して参考とすべき資料について

県教育委員会は、本審議会の調査・研究結果をもとに選定に必要な資料を作成すること。

令和5年度 第61回 佐賀県高等学校総合体育大会 上位成績一覧

競技種目	団 体				個 人				
	1位	2位	3位	3位	1位	2位	3位	3位	
陸上競技	男	鳥栖工	佐賀工	致遠館					
	女	清和高	佐賀北	白石高					
ラグビーフットボール	男	佐賀工	早稲佐						
サッカー	男	佐賀東	佐賀商	龍谷高	佐学高				
	女	神埼高	佐女高	武雄高	佐学高				
バスケットボール	男	佐賀北	鳥栖工	唐津工					
	女	清和高	佐賀北	佐賀商					
バレーボール	男	佐賀商	佐学高	北陵高	佐賀工				
	女	佐学高	清和高	鳥栖商	佐賀北				
ソフトテニス	男	嬉野高	佐賀工	唐津工		木下 琉希 藤井 智暉・嬉野	井田 隼介 中島 繁人・嬉野	松尾 優希 熊本隆之介・嬉野	今村 柊斗 松尾 響介・嬉野
	女	清和高	嬉野高	牛津高		中島 那菜 石井 胡桃・嬉野	石井 春菜 田代 愛花・清和	林田 真奈 松下りょう・清和	内田 雪喜 三原ひかり・清和
卓球	男	敬徳高	北陵高	佐賀商	シングルス	峯 唯人・敬徳	坂本 武尊・敬徳	下村 周平・敬徳	古庄 律希・北陵
					ダブルス	浦川 聖琉 田尻 穂・敬徳	峯 唯人 竹下 倫大・敬徳	坂本 武尊 下村 周平・敬徳	古庄 律希 牧野 輝・北陵
	女	敬徳高	佐賀商	佐賀北	シングルス	山川 日向 渡邊 日向	宮崎 美空・敬徳	岩室 瀬南・敬徳	渡邊 日向・敬徳
					ダブルス	岩室 瀬南・敬徳 梅本ひかり・敬徳	山川 胡実 永島 愛里	宮崎 美空・敬徳	江頭結生佳 白水麻妃瑠・佐商
柔道	男	佐賀北	佐賀商	佐賀工	60kg級	古賀 学・佐商	森永 倫平・龍谷	西村 海杜・佐北	松尾弘史郎・佐西
					66kg級	田中 龍希・佐商	片渕 聡太・佐工	東影竜之介・佐工	永松 大和・唐工
					73kg級	佐藤 一平・佐工	古賀 大翔・佐北	茶園 純大・佐北	大久保竜真・龍谷
					81kg級	坂口 賢・佐北	山崎 悠翔・佐商	武田 陽大・佐商	納谷 桂寿・佐工
					90kg級	香田桜次郎・佐商	野中 颯太・佐商	野田 竜成・佐北	桂川 侑大・龍谷
					100kg級	池田 快・佐北	森田 羚我・佐工	西 明虹・佐商	實松 誉磨・北陵
	女	佐賀商	佐賀工	小城高	48kg級	板橋 真子・佐商	岡本 紗和・佐工	大町 楓・佐学	川口 華・龍谷
					52kg級	長谷 心美・佐商	松島 里奈・佐工	古賀 優愛・北陵	福田 まみ・小城
					57kg級	南里陽菜乃・佐工	田中 栞・佐工	木下 恭華・鳥工	本村 莉菜・佐商
					63kg級	清水 優陸・佐商	小峰 葵結・佐商	下村姫咲稀・佐北	宮原 杏奈・龍谷
					70kg級	森 静玖・佐商	田中 あい・佐商	野口 結生・小城	竹下 莉央・北陵
					78kg級	中野 弥花・佐商	神近 樹愛・小城	秀瀬あゆな・小城	
剣道	男	三養基	敬徳高	龍谷高		北原 隆磨・三高	小幡 真弘・敬徳	弓 翔太・龍谷	西川 正剛・三高
	女	三養基	龍谷高	小城高		久富 百寧・小城	小川 なな・龍谷	宮崎 葵・敬徳	土井 麻央・佐学
弓道	男	早稲佐	唐津工	致遠館		野田 聡・早佐	出島 大慈・唐東	佐々木拓馬・佐北	
	女	鹿島高	武雄高	早稲佐		松尾 綾乃・唐東	大塚 美咲・鹿島	末竹莉央奈・唐西	
相撲	撲	男	多久高	清明高	無差別級	熊本涼太郎・多久	佐藤 蒼太・清明	佐伯 徒和・多久	
					100kg以上級	小旗 正宗・伊実	陣内 翔瑛・武雄		
					100kg級	佐伯 徒和・多久	佐藤 蒼太・清明	千住 啓太・清明	
新体操	操	男	鳥栖工			個人総合	堂前 彪我・鳥工	小笠原 春・鳥工	瀬口 寛太・鳥工
		女	鳥栖高			個人総合	井口 佳玲・鳥栖	齊藤ゆなか・鳥栖	中願寺紗亜耶・鳥栖
登山	山	男	鳥栖工A	佐賀工A	唐津東A				
		女	唐津東A						
ソフトボール	球	男	牛津高						
		女	佐女高	鹿島高	伊万里	伊実高			
ハンドボール	球	男	清和高	清明高	佐農高				
		女	清和高	佐女高	清明高				
水泳(競泳)	泳	男	佐賀商	佐学高	佐賀北				
		女	佐賀商	唐津商	佐賀北				
水泳(跳込)	泳					高飛込	神田 新・佐学	村岡 尚哉・佐工	
						3m飛板飛込	神田 新・佐学	村岡 尚哉・佐工	
テニス	男	鳥栖商	敬徳高	佐賀西	致遠館	シングルス	福永 真大・鳥商	野口 諒人・早佐	新開 大輝・佐商
						ダブルス	今村 潤矢 坂本 匠・致遠	森 悠太 川崎 脩生・佐西	榎 侑聖 松本涼太郎・龍谷
	女	佐賀商	鳥栖商	佐賀西	敬徳高	シングルス	草場 椎奈・佐商	田嶋和香奈・佐商	長友 沙薫・鳥商
						ダブルス	田嶋優里奈 田嶋和香奈・佐商	長友 沙薫 山本 和・鳥商	江向 真穂 宮崎陽花莉・鳥商

バドミントン	男	唐津南	佐賀工	武雄高	唐津西	シングルス	中尾 拓稜・唐南	稗田 偉央・唐南	藤木 大翔・北陵	松本 悠誠・唐南	
						ダブルス	稗田 偉央 中尾 拓稜・唐南	松本 悠誠 山本凌太郎・唐南	坂本 燎亮 福山恭史郎・佐工	姉川 昇生 川上 倅輝・唐南	
	女	佐女高	佐賀北	唐津東	鳥栖高	シングルス	今泉明日香・佐女	木下 柚葵・佐女	金岡 薫・佐女	中村 夏穂・佐女	
						ダブルス	今泉明日香 中村 夏穂・佐女	山口真里奈 山下 凜・佐女	高田 亜美 寺崎 彩音・佐女	金岡 薫 木下 柚葵・佐女	
ウエイトリフティング	男	有田工				55kg級	岸川 健真・有工				
						61kg級	田代 悠・有工				
						73kg級	西山 権二・高志				
						81kg級	平野 良誠・有工	川本 優太・有工			
						89kg級	村島 慶将・有工				
	96kg級	田中亮太郎・星生	佐々木 瞬・有工								
女						45kg級	松尾 環那・清和				
ボート	男	唐津西	唐津東			シングルスカル	梅川虎之助・唐西	新村 祐人・唐東	田中悠太郎・唐東		
						ダブルスカル (団体種目)	唐津東A	唐津西A	唐津西B		
						舵手付クォドルプル (団体種目)	唐津西	唐津東			
	女	唐津西	唐津東	早稲佐			シングルスカル	山崎 鈴夏・早佐	片山 愛来・唐西	北村 真子・敬徳	
							ダブルスカル (団体種目)	唐津西	唐津東		
							舵手付クォドルプル (団体種目)	唐津西			
ヨット	男	唐津東	唐津西	唐津工		420級 (団体種目)	唐津工A	唐津東A	唐津西A		
	女	唐津西	唐津東			420級 (団体種目)	唐津西A				
自転車	男	龍谷高				シנקルハンター級	平片 心花・唐東A	川添 夢叶・唐西A			
						1kmタイムトライアル	松尾 研司・龍谷	小林 優太・龍谷	吉中 美空・小城		
						スプリント	小林 優太・龍谷	松尾 研司・龍谷	吉中 美空・小城		
						3kmインディヴィジュアルタイムハンター級	松尾 研司・龍谷	吉中 美空・小城	小林 優太・龍谷		
						ケイリン	小林 優太・龍谷	松尾 研司・龍谷	吉中 美空・小城		
						男子4km速度競走	松尾 研司・龍谷	吉中 美空・小城	小林 優太・龍谷		
	4kmチームハンター級	龍谷高									
	チーム・スプリント	龍谷高									
	女						フライングスタート200m	原 愛華・龍谷			
							500mタイムトライアル	原 愛華・龍谷			
レスリング	男	鳥栖工				51kg級	怡土 悠馬・鳥工	宮原 拓海・鳥工			
						55kg級	河野兼多朗・鳥工	福富 将大・鳥工	中島 拓摩・鳥工		
						60kg級	前田 太晟・鳥工	吉田 樹央・鳥工	成田丞塾心・鳥工		
						65kg級	松原 拓郎・鳥工	内田 皇輝・鳥工	吉田 鳳天・鳥工		
						71kg級	三浦 修矢・鳥工	伊藤 海里・鳥工			
						80kg級	白川 大虎・鳥工	吉田 悠耶・鳥工	松尾 優我・鹿島		
						92kg級	甫木 元起・鳥工	森 大輔・鳥工			
						125kg級	大江 玲織・鳥工	瀧本 蒼・鹿島	松本 弘生・鳥工		
	女						62kg級	小柴 ゆり・鳥工			
							68kg級	大鋸 楓華・鹿島			
なぎなた	女	牛津高	佐賀東			個人試合	高島 蛍叶・佐東	松瀬 陽菜・牛津	山崎菜々美・佐東		
						演技競技	松瀬 陽菜 溝口 結羽・牛津	大谷 舞桜 小森 亜実・牛津	市丸 凜 坂田ほのか・佐東		
アーチェリー	男	高志館	厳木高			個人試合	松田 壱樹・厳木	山口 天馬・高志	井上 光彩・小城		
	女	高志館	厳木高			個人総合	井手優咲菜・高志	麻生真奈実・厳木	岡本 莉央・高志		
ボクシング	男	白石高	高志館	佐賀商	佐賀西	ピン級	小林 凜久・高志	土井 龍聖・白石	南里 奏凱・白石	久原 正雅・白石	
						ライトフライ級	川南 隆章・白石	山崎瑠衣斗・高志			
						フライ級	久原 悠人・白石	大木 龍峨・高志	岩本 健伸・高志		
						バンタム級	片淵 薫人・佐西	福田 日翔・白石			
						ライト級	前濱 守佑・白石	山口亜沙斗・高志			
						ライトウェルター級	高岸 僚介・佐商	村田 悠輔・白石			
						ウェルター級	太田 成恒・高志				
ミドル級	藤崎 太基・高志										

空 手 道	男	龍谷高	鳥栖高	佐賀東	佐賀西	個人組手	原 龍翔・龍谷	永瀨 倅弥・龍谷	塩川 太一・鳥栖	江下 蓮人・龍谷	
	女	龍谷高	佐賀北	佐賀東	唐津東	個人形	永瀨 倅弥・龍谷	百武 裕星・龍谷	横田 怜大・佐工	亀川 英汰・佐工	
カ ヌ	男	鳥栖工	神埼高	伊実高		個人組手	田中 胡幸・鳥栖	松本 陽菜・佐東	福崎 真央・龍谷	久保田亜依迦・佐西	
						個人形	坂口 結香・鳥栖	松本 陽菜・佐東	宮崎 祥歩・龍谷	周防梨衣愛・佐女	
						K-1(500m)	磯川 佳士・鳥工	松川 好利・鳥工	村山 歩夢・鳥工		
						K-2(500m)	松川 好利	村山 歩夢	石丸 叶汰		
							磯川 佳士・鳥工	田島 奈龍・鳥工	都知木康靖・伊実		
						K-4(500m) (団体種目)	松川、村山	後藤、寺田	山中、梅崎		
							磯川、田島・鳥工	鶴丸、井寺・鳥工	小柳、古賀・神埼		
						C-1(500m)	峯 佳生・神埼	中尾 光星・伊実	前田 空我・神埼		
						C-2(500m)	笹川 真吾	前田 空我			
							峯 佳生・神埼	佐々原遥音・神埼			
	C-4(500m)	峯、大石									
		前田、笹川・神埼									
	K-1(200m)	磯川 佳士・鳥工	松川 好利・鳥工	村山 歩夢・鳥工							
	K-2(200m)	松川 好利	村山 歩夢	石丸 叶汰							
		磯川 佳士・鳥工	田島 奈龍・鳥工	都知木康靖・伊実							
	K-4(200m) (団体種目)	松川、村山	後藤、寺田	山中、梅崎							
		磯川、田島・鳥工	鶴丸、井寺・鳥工	小柳、古賀・神埼							
	C-1(200m)	峯 佳生・神埼	中尾 光星・伊実	前田 空我・神埼							
	C-2(200m)	笹川 真吾	前田 空我								
		峯 佳生・神埼	佐々原遥音・神埼								
C-4(200m)	峯、大石										
	前田、笹川・神埼										
女	神埼高	伊実高	鳥栖工		WK-1(500m)	元石 暖華・神埼	入嶋 遥愛・神埼	杉本ちほみ・伊実			
					WK-2(500m)	入嶋 遥愛	杉本ちほみ	末次はるか			
						元石 暖華・神埼	塚本 千愛・伊実	萩野 未来・神埼			
					WK-4(500m)	入嶋、末次					
						元石、小川・神埼					
					WK-1(200m)	入嶋 遥愛・神埼	元石 暖華・神埼	杉本ちほみ・伊実			
WK-2(200m)	入嶋 遥愛	杉本ちほみ	末次はるか								
	元石 暖華・神埼	塚本 千愛・伊実	萩野 未来・神埼								
WK-4(200m)	入嶋、末次										
	元石、小川・神埼										
フェンシング	男	佐賀商				フルーレ	小山田成那・北陵	木下 勾太・佐商	岩永 陸椰・佐商		
						エペ	土川 玲旺・佐商	中山 太陽・佐商			
						サーブル	木下 勾太・佐商	岩永 陸椰・佐商	山下 竜輝・佐商		
	女	佐賀商					フルーレ	一ノ瀬 桜・佐西	今泉 葉南・佐商	新郷 暢凡・佐商	
							エペ	今泉 葉南・佐商	坂井 日向・佐商	鹿江 七音・佐商	
							サーブル	藤木 旭生・佐商	金井 さち・佐商	新郷 暢凡・佐商	
少林寺拳法	男	武雄高				単独演武	原 紳太郎・武雄	大橋 由來・鳥栖	大宅 輝征・武雄		
						組演武	福島 博人	江口 慶	江里口昂生		
						淀川政獅郎・武雄	鈴木 然・武雄	原田 裕基・小城			
	女	武雄高					単独演武	長瀬ひなの・佐商	川副 希良・武雄	一ノ瀬七海・唐西	
組演武							真崎萌々子	金丸 実結	中村 優花		
						瀬崎 希・武雄	田口 紗恵・武雄	岩永 理子・武雄			

令和5年度 全九州高等学校体育大会日程及び競技会場一覧

2023/4/24 現在

開催県	競技種目	開 会 式	競 技 日 程	申込締切日
		競 技 会 場		
福岡	北九州陸上	6月15日(木)	6月15日(木)～6月18日(日)	6月8日(木)
		博多の森陸上競技場		
	ヨット	6月16日(金)	6月16日(金)～6月18日(日)	6月2日(金)
		福岡市ヨットハーバー		
	新体操	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月2日(金)
		北九州市立総合体育館		
バスケットボール	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)	
	福岡市総合体育館 照葉アリーナ			
体操	6月24日(土)	6月24日(土)～6月25日(日)	6月2日(金)	
	北九州市立総合体育館			
登山	7月7日(金)	7月7日(金)～7月10日(月)	6月16日(金)	
	英彦山山系(添田町)			
佐賀	カヌー	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月5日(月)
		佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場		
	ラグビー	6月16日(金)	6月17日(土)～6月20日(火)	6月6日(火)
		SAGAサンライズパークボールフィールド		
	卓球	6月23日(金)	6月24日(土)～6月25日(日)	6月9日(金)
	SAGAプラザ(総合体育館)			
飛込	7月8日(土)	7月8日(土)～7月9日(日)	6月30日(金)	
	SAGAアクア ダイビングプール			
競泳	7月8日(土)	7月7日(金)～7月10日(月)	6月22日(木)	
	SAGAアクア			
長崎	ウエイトリフティング	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)
		諫早市小野体育館		
	ソフトテニス	6月30日(金)	7月1日(土)～7月2日(日)	6月9日(金)
		長崎市総合運動公園かきどまり庭球場		
	ソフトボール	7月7日(金)	7月8日(土)～7月9日(日)	6月16日(金)
	なごみの里運動公園、諫早市営ソフトボール場(小野島グラウンド)			
空手道	7月7日(金)	7月8日(土)～7月9日(日)	6月16日(金)	
	佐世保市体育文化館			
駅伝	11月17日(金)	11月18日(土)～11月18日(土)	11月6日(月)	
	雲仙市・南島原市(公財)日本陸上競技連盟公認 雲仙小浜マラソンコース			
大分	バレーボール	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)
		別府市総合体育館		
	レスリング	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)
		佐伯市総合運動公園 佐伯中央病院アリーナ		
	ハンドボール	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月9日(金)
	レゾナック武道スポーツセンター メイン競技場			
テニス	6月16日(金)	6月17日(土)～6月19日(月)	6月8日(木)	
	大分スポーツ公園レゾナックテニスコート、豊後企画大分駄原テニスコート			
相撲	7月2日(日)	7月2日(日)～7月2日(日)	6月9日(金)	
	宇佐市総合運動場相撲場			
熊本	サッカー	6月16日(金)	6月17日(土)～6月19日(月)	6月7日(水)
		COSMOS熊本県フットボールセンター(人工芝)、大津町運動公園球技場		
	少林寺拳法	6月17日(土)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月2日(金)
		熊本市総合体育館 大体育室		
	剣道	6月30日(金)	7月1日(土)～7月2日(日)	6月9日(金)
	山鹿市総合体育館			
水球	6月30日(金)	7月1日(土)～7月2日(日)	6月14日(水)	
	熊本県立熊本高等学校プール			
新人陸上	10月6日(金)	10月6日(金)～10月8日(日)	9月22日(金)	
	えがお健康スタジアム(熊本県総合運動公園陸上競技場)			
宮崎	自転車	6月8日(木)	6月8日(木)～6月11日(日)	5月29日(月)
		根占自転車競技場(トラック)、綾町特設コース(ロード)		
	柔道	6月17日(土)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)
	宮崎県総合運動公園 ひなた武道館			
フェンシング	6月30日(金)	7月1日(土)～7月2日(日)	6月9日(金)	
	宮崎市総合体育館 体育室			
鹿児島	南九州陸上	6月16日(金)	6月16日(金)～6月19日(月)	6月5日(月)
		白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)		
	なぎなた	6月17日(土)	6月18日(日)～6月18日(日)	6月5日(月)
		鹿児島県総合体育センター体育館		
	ボート	6月16日(金)	6月17日(土)～6月18日(日)	6月7日(水)
	輝北ダム特設ローイングコース			
ボクシング	6月22日(木)	6月23日(金)～6月25日(日)	6月5日(月)	
	鹿児島県総合体育センター体育館			
弓道	7月1日(土)	7月1日(土)～7月2日(日)	6月12日(月)	
	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ) 弓道場			
沖縄	バドミントン	6月16日(金)	6月17日(土)～6月19日(月)	6月6日(火)
		那覇市民体育館 メインアリーナ・サブアリーナ		
	ホッケー	6月16日(金)	6月17日(土)～6月19日(月)	6月6日(火)
	県立北山高等学校グラウンド(クレー)、今帰仁村営グラウンド(クレー)			
アーチェリー	7月8日(土)	7月8日(土)～7月9日(日)	6月16日(金)	
	県立宜野湾高等学校グラウンド			

令和5年度 第60回佐賀県中学校総合体育大会日程一覧表

総合開会式		嬉野市社会文化会館	7/22(土)					鹿・嬉・藤地区中体連		
競技名		会場		開催期日					主管地区	
体操競技	男女	SAGAサンライズパークSAGAプラザ体操場		6/17(土)					三養基地区中体連	
テニス	男女	SAGAサンライズパークテニスフィールド		6/24(土)・25(日)					鹿・嬉・藤地区中体連	
バドミントン	男女	芦刈文化体育館		6/24(土)・25(日)					小・多地区中体連	
		吉野ヶ里町文化体育館								
空手道	男女	大和勤労者体育センター		6/25(日)					杵・武地区中体連	
新体操	男	神埼清明高校新体操場		6/17(土)					神埼地区中体連	
	女	SAGAサンライズパークSAGAプラザ大競技場		7/16(日)					三養基地区中体連	
水泳競技	男女	SAGAサンライズパークSAGAアクア		7/15(土)・16(日)					小・多地区中体連	
陸上競技	男女	SAGAサンライズパークSAGAスタジアム		7/15(土)・16(日)					伊・西地区中体連	
ハンドボール	男女	吉野ヶ里町文化体育館		7/16(日)					神埼地区中体連	
競技名		会場	開催期日 (7月)					開会式・開始式 形態	主管地区	
			22	23	24	25	26			
			土	日	月	火	水			
軟式野球	男	鳥栖市民球場	○	○	◎			4チーム開始式	鳥栖地区中体連	
		基山町営球場	○					4チーム開始式		
		中原公園野球場	○	○	○			4チーム開始式	三養基地区中体連	
		三田川中央公園野球場	○					4チーム開始式	神埼地区中体連	
バスケットボール	男女	唐津市文化体育館				男○	◎	16チーム開始式	唐津地区中体連	
		諸富文化体育館	女○					16チーム開始式	佐賀市中体連	
剣道	男女	吉野ヶ里町文化体育館	◎	◎				1日目参加選手全員開始式	神埼地区中体連	
ソフトボール	女	天徳の丘運動公園	○	◎				16チーム開始式	唐津地区中体連	
バレーボール	男女	SAGAサンライズパークSAGAプラザ大競技場・小競技場		男女○	男女◎			32チーム開始式	佐賀市中体連	
柔道	男女	嬉野市社会文化会館メインアリーナ	団◎	個◎				1日目参加選手全員総合開会式	鹿・嬉・藤地区中体連	
相撲	男	国見台相撲場					◎	参加選手全員開始式	伊・西地区中体連	
ソフトテニス	男女	松浦河畔公園庭球場	団◎	個◎				24チーム開始式	唐津地区中体連	
		唐津東高等学校・中学校テニスコート	団◎	個◎				24チーム開始式		
卓球	男女	基山町総合体育館アリーナ	団◎	個◎				48チーム開始式	鳥栖地区中体連	
サッカー	男	SAGAサンライズパークSAGAスタジアム			◎			8チーム開始式	佐賀市中体連	
		SAGAサンライズパークボールフィールド北	○	○	○					
		SAGAサンライズパークボールフィールド南	○	○	○					
		佐賀市健康運動センター(天然芝)	○					8チーム開始式		
		佐賀市健康運動センター(多目的グラウンド)	○							

◎ 大会本部 昼間:金泉中学校(県中体連事務局)

駅伝	男女	ふくどみマイランド公園コース	11月10日(金)	杵島・武雄地区中体連
----	----	----------------	-----------	------------

【球種大会・通信陸上競技大会】

大会名・競技名	会場	開催期日	主管地区
九州中学校体育大会	佐賀県開催競技なし		
県中学校通信陸上競技大会	SAGAサンライズパークSAGAスタジアム	6月24日(土)・25日(日)	(一財)佐賀陸上競技協会

令和5年度 九州中学校体育大会 期日・開催地一覧

競技種目	開催県	会場地	開催期日(8月)	会場	連絡先	申込締切日	開会式
陸上競技	沖縄	沖縄市	6日(日)～8日(火)	タピック県総ひやごんスタジアム	〒900-0026 那覇市奥武山町5-1-2 沖縄県体協スポーツ会館01 沖縄県中学校体育連盟事務局 TEL098-996-1962		8/6(日) 16:00～
水泳	長崎	長崎市	4日(金)～6日(日)	長崎市民総合プール	〒850-0003 長崎市片淵3-22-22 長崎市立片淵中学校内 長崎県中学校体育連盟事務局 TEL095-800-2112		8/4(金) 16:00～
バスケットボール	熊本	熊本市 益城町	8日(火)～10日(木)	ナースパワースタジアム 益城町総合体育館	〒862-0901 熊本市東区東町4-15-1 熊本市立東町中学校内 熊本県中学校体育連盟事務局 TEL096-368-7754		8/8(火) 16:00～
サッカー	長崎	島原市	5日(土)～8日(火)	島原市営平成町多目的広場	〒850-0003 長崎市片淵3-22-22 長崎市立片淵中学校内 長崎県中学校体育連盟事務局 TEL095-800-2112		8/5(土) 16:00～
ハンドボール	沖縄	那覇市 豊見城市	8日(火)～10日(木)	豊見城市民体育館	〒900-0026 那覇市奥武山町5-1-2 沖縄県体協スポーツ会館01 沖縄県中学校体育連盟事務局 TEL098-996-1962		8/8(火) 16:00～
軟式野球	宮崎	宮崎市 西都市	3日(木)～6日(日)	ひなたサンマリンスタジアム宮崎、清武SOKKENスタジアム アイビースタジアム、西都原運動公園野球場	〒880-0007 宮崎市原町1-4 宮崎市立宮崎西中学校内 宮崎県中学校体育連盟事務局 TEL0985-27-8161		8/3(木) 16:00～
新体操	福岡	北九州市 北九州市	4日(金)～5日(土) 7日(月)～9日(水)	北九州市立総合体育館 北九州市立総合体育館	〒802-0981 北九州市小倉南区企救丘4-4-1 北九州市立志徳中学校内 北九州市中学校体育連盟事務局 TEL093-962-2481		8/4(金) 8/7(月) 16:00～
バレーボール	大分	大分市	4日(金)～6日(日)	「レゾナック武道スポーツセンター」 「サイクルショップコダマ大洲アリーナ」、「コンパルホール」	〒870-0163 大分市明野南3-7-1 大分市立明野中学校内 大分県中学校体育連盟事務局 TEL097-553-2827	8/1(火)	8/4(金) 16:00～
ソフトニス	大分	大分市	5日(土)～7日(月)	大分スポーツ公園「レゾナックテニスコート」	〒870-0163 大分市明野南3-7-1 大分市立明野中学校内 大分県中学校体育連盟事務局 TEL097-553-2827		8/5(土) 16:00～
卓球	沖縄	那覇市	3日(木)～5日(土)	那覇市民体育館	〒900-0026 那覇市奥武山町5-1-2 沖縄県体協スポーツ会館01 沖縄県中学校体育連盟事務局 TEL098-996-1962		8/3(木) 16:00～
バドミントン	宮崎	宮崎市	7日(月)～9日(水)	宮崎市総合体育館	〒880-0007 宮崎市原町1-4 宮崎市立宮崎西中学校内 宮崎県中学校体育連盟事務局 TEL0985-27-8161		8/7(月) 16:00～
ソフトボール	熊本	八代市	3日(木)～5日(土)	球磨川河川緑地公園ソフトボール広場 エコパーク水俣	〒862-0901 熊本市東区東町4-15-1 熊本市立東町中学校内 熊本県中学校体育連盟事務局 TEL096-368-7754		8/3(木) 16:00～
柔道	大分	大分市	8日(火)～10日(木)	レゾナック武道スポーツセンター	〒870-0163 大分市明野南3-7-1 大分市立明野中学校内 大分県中学校体育連盟事務局 TEL097-553-2827		8/8(火) 16:00～
剣道	福岡	福岡市	8日(火)～10日(木)	福岡市総合体育館 照葉積水ハウスアリーナ	〒819-0013 福岡市西区薬岩浜1-32-1 福岡市立姪浜中学校内 福岡県中学校体育連盟事務局 TEL092-400-0004		8/8(火) 16:00～
相撲	長崎	平戸市	3日(木)～4日(金)	平戸市宮相撲場	〒850-0003 長崎市片淵3-22-22 長崎市立片淵中学校内 長崎県中学校体育連盟事務局 TEL095-800-2112		8/4(金) 9:30～
空手道	鹿児島	薩摩川内市	9日(水)～10日(木)	サンアリーナせんだい	〒891-0112 鹿児島市魚見町120-2 鹿児島市立東谷山中学校内 鹿児島県中学校体育連盟事務局 TEL099-268-4821		8/9(水) 16:00～
テニス	鹿児島	鹿児島市	5日(土)～8日(火)	東開庭球場	〒891-0112 鹿児島市魚見町120-2 鹿児島市立東谷山中学校内 鹿児島県中学校体育連盟事務局 TEL099-268-4821		8/5(土) 16:00～
駅伝	熊本	天草市	12月1日(金)～2日(土)	天草市コース	〒862-0901 熊本市東区東町4-15-1 熊本市立東町中学校内 熊本県中学校体育連盟事務局 TEL096-368-7754		12/1(金) 16:00～

令和5年度全国中学校体育大会・研究大会一覧

No	大会名	開催地	会期	会場	連絡責任者	大会事務局所在地	上級・電話・FAX番号	申込期
1	第50回 全日本中学校 陸上競技選手権大会	愛媛県 松山市	8月22日(水)～25日(金)	ニンジニアスタジアム	重松 正則	〒790-0053 松山市竹原3-19-35 松山市立城島中学校内	080-7259-5124 089-900-8410	8月3日
2	第53回 全国中学校 水泳競技大会	香川県 高松市	8月17日(木)～19日(土)	香川県総合運動公園水泳プール	栗藤 功	〒760-0077 香川県高松市上福岡町714番地1 高松市立玉藻中学校内	090-2853-0708 087-337-9126	WEB7/30 書類7/31
3	第53回 全国中学校 バスケットボール大会	香川県 高松市・善通寺市 三豊市	8月21日(月)～24日(木)	高松市総合体育館 高松市香川総合体育館 善通寺市民体育館 三豊市総合体育館	清水 基成	〒760-0077 香川県高松市上福岡町714番地1 高松市立玉藻中学校内	090-3553-9918 087-837-9126	8月14日
4	第54回 全国中学校 サッカー大会	香川県 高松市・三木町・綾川町 坂出市・丸亀市	8月19日(土)～24日(木)	香川県総合運動公園サッカー場 高松市立東部運動公園サッカー場 丸亀レクリエーションスタジアム Pikaresスタジアム 瀬戸大橋記念公園 三木町総合運動公園 綾川町総合運動公園	吉川 和克	〒760-0077 香川県高松市上福岡町714番地1	080-5661-1143	E-mail 8/3 WEB 8/4 書類 8/10
5	第52回 全国中学校 ハンドボール大会	徳島県 徳島市・鳴門市・北島町	8月20日(日)～23日(水)	大友記念アリーナ 鳴門大塚スポーツパーク アミノリビューホール VCKドーム(北島北公園運動場内)	浜城 加代	〒770-0807 徳島県徳島市中前川町3丁目16番地 徳島中学校内	080-3924-2256 088-623-3176	E-mail 8/7 書類 8/11
6	第45回 全国中学校 軟式野球大会	高知県 高知市・安芸市	8月18日(金)～22日(火)	県立春野総合運動公園 野球場 高知市総合運動場 野球場 高知市真野総合運動場 野球場 安芸市野球場	西村 誠人	〒780-0912 高知県高知市八坂町1-8-14 高知市立城北中学校内	080-2854-3821 088-824-5968	8月10日
7	第54回 全国中学校 体操競技選手権大会	徳島県 鳴門市	8月24日(木)～26日(土)	鳴門大塚スポーツパーク アミノリビューホール	田郷 裕輝	〒770-0807 徳島県徳島市中前川町3丁目16番地 徳島中学校内	080-4035-2256 088-623-3176	8月10日
8	第54回 全国中学校 新体操選手権大会	愛媛県 松山市	8月17日(木)～19日(土)	愛媛県総合運動公園体育館	木下 恵理	〒790-0947 松山市坪内1丁目1-20 松山市立樟中学校内	080-7259-5125 089-900-8410	8月7日
9	第53回 全日本中学校 バレーボール選手権大会	愛媛県 松山市・伊予市	8月20日(日)～23日(水)	松山市総合コミュニケーションセンター体育館 愛媛県総合運動公園体育館・補助体育館 伊予市民体育館	梶野 慎平	〒790-0947 松山市坪内1丁目1-20 松山市立樟中学校内	080-7259-5189 089-900-8410	E-mail 8/1 PDF 8/11 書類 8/16
10	第54回 全国中学校 ソフトテニス大会	愛媛県 今治市	8月21日(月)～23日(水)	今治市営スポーツパークテニスコート	榎 光一郎	〒790-0947 松山市坪内1丁目1-20 松山市立樟中学校内	080-7259-5262	8月12日
11	第54回 全国中学校 卓球大会	高知県 高知市	8月22日(火)～25日(金)	県立県民体育館	竹内 千翔	〒780-0912 高知県高知市八坂町1-8-14 高知市立城北中学校内	080-2854-3819 088-824-5968	8月10日
12	第53回 全国中学校 バドミントン大会	高知県 高知市	8月20日(日)～23日(水)	県立春野総合運動公園 体育館	植田 竜平	〒780-0912 高知県高知市八坂町1-8-14 高知市立城北中学校内	080-2854-3822 088-824-5968	8月9日
13	第45回 全国中学校 ソフトボール大会	香川県 徳島市	8月18日(金)～21日(日)	大島上器川公園	土佐 将	〒760-0077 香川県高松市上福岡町714番地1 高松市立玉藻中学校内	080-3166-5913 087-837-9126	8月7日
14	第54回 全国中学校 柔道大会	徳島県 鳴門市	8月17日(木)～20日(日)	鳴門大塚スポーツパーク アミノリビューホール	八木 保臣	〒770-0807 徳島県徳島市中前川町3丁目16番地 徳島中学校内	080-4999-2256 088-623-3176	8月3日
15	第53回 全国中学校 剣道大会	愛媛県 松山市	8月18日(金)～20日(日)	愛媛県武道館	宮永 洋平	〒790-0947 松山市坪内1丁目1-20 松山市立樟中学校内	080-7259-5272 089-900-8410	7月30日
16	第53回 全国中学校 相撲選手権大会	高知県 高知市	8月18日(金)～19日(土)	県立県民体育館	小松 高寿	〒780-0912 高知県高知市八坂町1-8-14 高知市立城北中学校内	080-2854-3820 088-824-5968	8月9日
17	第31回 全国中学校 駅伝大会	滋賀県 野洲市	12月16日(土)～17日(日)	滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生グラウンド	市田 正義	〒520-0807 大津市松本1-2-1 大津合同庁舎 滋賀県教育委員会健康体育課内	077-535-9080 077-535-9081	
18	第61回 全国中学校 スキー大会	長野県 野沢温泉村	令和6年 2月6日(火)～9日(金)	野沢温泉スキー場カンダハ・ユース 野沢温泉センターユース 野沢温泉センターユース	前澤 健太	〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村9167番地 野沢温泉村公民館内	0269-67-0363 0269-85-4447	
19	第44回 全国中学校 スケート大会	長野県 長野市	令和6年 2月3日(土)～6日(火)	長野市オリンピック記念アリーナ(ニムクエープ)	鈴木 秀規	〒380-8512 長野県長野市大字観音寺町1613 長野市文化スポーツ園隣部スポーツ課内	026-224-7804 026-224-7351	
20	第44回 全国中学校 アイスホッケー大会	東京都 西武高市・東大和市	令和6年 1月25日(水)～28日(日)	ダイアードンコアイスアリーナ 東大和スケートセンター	佐藤 俊治	〒113-0038 東京都文京区本郷1-3-3 東京都教職員研修センター409号	03-5615-9517 03-5615-9518	
21	第40回 公財日本中学校 体育連盟研究大会	東京都 東京都	令和6年 1月18日(水)～19日(金)	ANAクラウンプラザホテル京都	浅野 勇人	〒600-8533 京都市下京区中堂寺命福町1-10 京都府庁 教育振興課体育課内	075-414-5892 075-414-5893	